

第75回青森県中学校体育大会夏季大会要項

- 1 名 称 第75回青森県中学校体育大会夏季大会
- 2 趣 旨 (1) スポーツマンシップの涵養
(2) スポーツ技術の向上
(3) スポーツによる善導及び生徒相互の親睦と社会性の伸長
- 3 主 催 青森県中学校体育連盟・青森県教育委員会
- 4 共 催 公益財団法人青森県スポーツ協会
- 5 主 管 東青中学校体育連盟・下北地方中学校体育連盟
- 6 期 日 令和6年7月13日(土)～15日(月) 予備日16日(火)
 13日(土) 13:00～ 総合開会式：新青森県総合運動公園マエダアリーナメイン
 14日(日) 9:00～ 競技1日目(競技終了18:00)
 15日(月) 9:00～ 競技2日目(競技終了17:00)
 16日(火) 予備日

7 競技種目並びに競技会場

	種 目	会 場		種 目	会 場
1	陸 上	カクヒログループ アスレチックスタジアム (新青森県総合運動公園陸上競技場) (東 青)	9	卓 球	八 戸 市 体 育 館 (三 八)
2	軟 式 野 球	ダイシンベースボールスタジアム 青森県総合運動公園野球場 浪岡総合運動公園浪岡野球場 玉松台スポーツガーデン野球場 (東 青)	10	柔 道	三 沢 市 武 道 館 (上 北)
3	ソフトボール	平川市運動施設 平賀多目的広場 ひ ら か ド ー ム (中 南)	11	剣 道	七 戸 町 総 合 ア リ ー ナ (上 北)
4	サ ッ カ ー	弘前市運動公園(球技場) 弘前市運動公園(陸上競技場) 岩木山総合運動公園(多目的グランド) (中 南)	12	相 撲	青 森 県 武 道 館 相 撲 場 (中 南)
5	バスケットボール	伊藤鉱業アリーナつがる 五所川原市民体育館 (西 北)	13	体 操	弘前学院聖愛高等学校 (中 南)
6	バレーボール	新青森県総合運動公園マエダアリーナ (東 青)	14	新体操(男子)	青 森 山 田 高 等 学 校 (東 青)
7	バドミントン	ス ポ カ ル イ ン 黒 石 (中 南)		新体操(女子)	ひらかわドリームアリーナ (中 南)
8	ソフトテニス	八戸市東運動公園テニスコート (三 八)	15	水 泳	新青森県総合運動公園 マエダアリーナ50mプール (東 青)

- 8 参加資格
- (1) 県内中学生であって、各地区から選抜されたもの。
 - (2) 参加者は、1人1種目とする。
 - (3) 個人種目については、各地区大会で出場権を得た者。
団体種目については、各地区大会で出場権を得たチーム。
なお、相撲、体操・新体操については、学校（地域クラブ）単位1チーム参加できる。
バドミントン競技は別に定める。
 - (4) 合同チームについては、『青森県中学校体育大会における複数校合同チーム参加規定』を満たしている場合に参加できる。種目は以下の5種目とする。
〔バスケットボール、サッカー、バレーボール、軟式野球、ソフトボール〕

- 9 監督及びコーチ
- 監督は当該校の教職員・部活動指導員とする。地域クラブについては責任ある代表者または指導者とする。また、中学校体育連盟が主催する大会（予選を含む）で登録できるチームは1チームのみであること。

【部活動指導員】

学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者を言う。

ただし、部活動指導員は教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしていなければならない。

- ① 満20歳以上であること。
- ② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
- ③ 次のいずれかに当てはまる者とする。
 - ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。
 - イ （公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。
 - ウ 自治体（含む教育委員会）、体育（スポーツ）協会、中学校体育連盟のいずれかが主催する研修会を受講している者。

【外部コーチ】

校長が認めた者とする。ただし、中学校教職員・校長・部活動指導員が他校の外部コーチとしてベンチに入ることは認めない。

本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・外部指導者（コーチ）・トレーナー等は、運動部活動指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。
なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。

- 10 参加料等
- 大会参加料は選手1人につき1,500円とする。
県大会から出場する地域クラブは、県中体連負担金（1人につき380円）をエントリー人数分支払うこと。

- 11 申込み
- (1) 申込み用紙は県中体連ホームページからダウンロードし、所定の参加申込書に記入後、校長印を押して地区中体連に3部提出する。
 - (2) 参加申込書及び参加料は、各地区中体連でとりまとめ、6月24日（月）の大会運営委員会へ持参する。なお、参加申込書のデータも各地区でとりまとめUSBに保存して持参する。
 - (3) 個人種目のある競技（陸上、バドミントン、ソフトテニス、卓球、柔道、剣道、体操）は、各地区の競技委員長が参加選手一覧を1枚の用紙にまとめて、各地区中体連に提出するとともに、県専門部委員長、大会実行委員会事務局へ抽選前までに送付し、抽選時に遺漏のないようにすること。
 - (4) 申込書に記載する選手氏名・学校名・学年等の情報は大会プログラムへ掲載し、公表するとともに、大会結果集約に利用する。成績上位者については報道発表並びにホームページに掲載する。事情がある場合は、各地区中体連を通して青森県中学校体育連盟及び大会実行委員会に連絡をする。
 - (5) 地域クラブからの申込みについて
 - ・地区大会から出場する地域クラブについては、申込み用紙を県中体連ホームページからダウンロードし、所定の参加申込書に記入後、代表責任者の押印をして地区中体連に3部提出する。その後は、上記（2）～（4）と同じ手続きをすること。
 - ・県大会から出場する地域クラブについては、申込み用紙を県中体連ホームページからダ

ダウンロードし、所定の参加申込書に記入後、代表責任者の押印をして大会実行委員会に3部提出するとともに、6月24日(月)までに大会参加料と県中体連負担金をエントリー人数分振込むこと。(振込手数料は負担すること)※振込先はP3下「県大会実行委員会事務局」参照

12 運営委員会

- (1) 大会運営委員会は、次の①～④のメンバーで構成される。
- ① 議決、承認権のあるもの。
 - ・県中体連会長・同副会長・同理事長・同理事
 - ② 競技要項についての提案、報告の義務があるもの。
 - ・県中体連各競技部会長 ・県中体連各競技専門部委員長
 - ・開催地中体連各競技部長 ・開催地中体連各競技委員長
 - ③ ②を除く提案、報告義務のあるもの。
 - ・大会開催地事務局構成員
 - ④ 諮問権のあるもの。
 - ・県教育委員会代表
- (2) 大会運営委員会は、6月24日(月)に県中体連会長によって招集され、次の①～⑤の仕事を行う。
- ① 開会式の要項について最終決定をする。
 - ・次第、行進隊形と順序 ・服装 ・集合時間と場所
 - ・荒天の際の要項 ・その他
 - ② 大会役員の決定をする。
 - ③ 競技要項の最終決定をする。
 - ・抽選による競技組み合わせ(個人戦は事前抽選、説明、確認をする。)(県中体連各競技専門部委員長は抽選要項を作成・持参し、共通理解の上、厳正にかつ速やかに抽選を行う。)
 - ・競技の場所と時刻
 - ・会場見取り図、駐車場案内配布と説明
 - ・その他
 - ④ 選手の輸送方法、宿舍、大会の情報宣伝について協議する。
 - ⑤ 予算について決定する。

※決定した内容については、地域クラブにも周知に努め、共通理解を図ること。

13 表彰

- (1) 学校(地域クラブ)対抗とする。
- (2) 団体競技種目については、3位までの入賞チームに賞状を授与する。また、そのチーム構成選手には、別に、個人用賞状を授与する。
- (3) 団体種目優勝チームには、優勝旗を授与する。
- (4) 個人種目については、8位までの入賞者に賞状を授与する。
- (5) 本大会では、上記の(1)～(3)以外に、金銭や賞品などを用いての表彰はしない。

14 健康管理

大会参加選手の健康管理については、関係者一同、特に注意しなければならない。もし、事故の生じた際は、大会実行委員会事務局を通して県中体連会長に細大もらさず報告し、その指示を受けるものとする。

15 その他

- (1) 観戦者における競技会場内、または応援席や駐車場等、会場周辺の事故、破損等については、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。
 - ※「会場周辺の事故」には、競技中のボール等の用具が車や人に直撃した場合や、風や雷等、天候の影響で起こった場合も含む。
- (2) 大会実施の可否に関わる不測の事態が生じた場合、もしくは生じる可能性がある場合は、大会実行委員会等で協議の上、別に定める。
- (3) 宿泊については、指定業者を通して行うこと。

県大会実行委員会事務局

東青中学校体育連盟事務局
 〒038-0022 青森市浪館字志田36(青森市立西中学校)
 専用 TEL・FAX 017-763-0062
 振込先 青森銀行 大野支店 普通 3085034
 県大会実行委員会 会長 大友 啓文
 E-mail aoshichu@gmail.com 理事長 小関 征克

1 陸 上 競 技

- 1 主 催 青森県中学校体育連盟 青森県教育委員会 一般財団法人青森陸上競技協会
- 2 日 時 7月13日(土) 10:00~12:00 公式練習 (本競技場・補助競技場・投てきアーチェリー場)
14:30~16:00 公式練習 (本競技場・補助競技場・投てきアーチェリー場)
7月14日(日) 9:15~ 競技開始
7月15日(月) 9:30~ 競技開始
- 3 場 所 カクヒログループアスレチックスタジアム (新青森県総合運動公園陸上競技場)
- 4 種 目 ◎男子の部 (17種目)
1 年 100m、1500m
2 年 100m
1・2年 低学年4×100mR (1年2名、2年2名)
2・3年 1500m
3 年 100m
共 通 200m、400m、800m、3000m、110mH、4×100mR、走高跳
棒高跳、走幅跳、砲丸投 (5.0kg)
四種競技 (①110mH ②砲丸投4.0kg ③走高跳 ④400m)
◎女子の部 (14種目)
1 年 100m、1500m
2 年 100m
1・2年 低学年4×100mR (1年2名、2年2名)
2・3年 1500m
3 年 100m
共 通 200m、800m、100mH、4×100mR、走高跳、走幅跳
砲丸投 (2.721kg)
四種競技 (①100mH ②走高跳 ③砲丸投 ④200m)
《備考》ハードルは次の規格で行う。
男子110mH 台数10台 高さ0.914m
インターバル 13.72m-9.14m-14.02m
女子100mH 台数10台 高さ0.762m
インターバル 13.00m-8.00m-15.00m
- 5 参加資格 (1)青森県中学校体育連盟に加盟する中学校に在籍する生徒で、校長(クラブ代表)が参加を認めた者。
(2)各地区の予選会において東青、中南、西北、三八地区については6位まで、上北、下北地区については3位までに入賞した選手、及びリレーチーム。
- 6 参加制限 (1)1校(1クラブ)、1種目で3名以内とする。
(2)1人1種目とする。ただし、リレーを除く。リレーを2つ兼ねることはできない。
(3)学年別種目は、当該学年に限る。その他は、1・2・3年オープンとする。
- 7 競技方法 (1)学校(クラブ)対抗とする。
(2)種目得点は、1位8点、2位7点……8位1点とし、男女別に得点を合計して順位を決定する。同得点の場合は、1位を決定するときのみ各種目1位(次は2位、3位)入賞者の多寡で、2位以下の場合は同順位とする。
- 8 申込方法 (1)各地区競技委員長が、以下のように手続きを行う。
①各校顧問から出場辞退者、リレーメンバーの確認を行う
②①を元に県大会出場者一覧を作成し、各校顧問へ送る。
③各地区予選会の決勝記録一覧表(8位まで)、参加選手一覧表、参加校・参加人数一覧表を地区大会終了後、直ちに県中陸上競技専門部委員長へメールで申し込む。
メールアドレス: aonokirameki.jhs.tf@gmail.com
※青森陸上競技協会事務局への申込は、県中体連陸上競技専門部委員長が行う。
④地区中体連、県中体連専門委員長、実行委員会事務局への提出は第75回青森県中学校体育大会夏季大会要項P2.11申し込みの手順にしたがって申し込む。

(2)各学校(クラブ)は、第75回青森県中学校体育大会夏季大会要項P.11申し込みの手順及び③にしたがって申し込む。

(3)各学校(クラブ)は①の②の一覧表を元に、インターネットでの入力(NANS 21V, WEB登録)による申し込みを行う。

※申込期日以降の申し込みは一切受け付けない。【6/20(木)23:59】

※エントリータイムは必ず記入すること。(地区大会の決勝記録を入力)

9 番組編成

番組編成は、主催者においてルールに則り行う。決勝の番組編成結果は、大型スクリーン及び掲示板に掲示する。

10 競技注意事項

(1)本大会は、2024年度日本陸上競技連盟規則によって行う。

(2)スタートの合図は英語で行う。不正スタートした競技者は、1回目から失格となる。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格となる。

(3)本競技場は、トラック・フィールドとも全天候スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。

(4)出場選手は、必ず選手招集所に集まり、競技者係より点検を受ける。

(5)各種目別の選手招集時間は、次の通り。

トラック競技は35分前開始、20分前完了 フィールド競技60分前開始、45分前完了。

ただし棒高跳びは75分前開始、60分前完了。

(6)走高跳・棒高跳のバーの上昇は次のとおりとする。ただし、天候等の理由で変更することもあり得る。

	種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
男	走高跳	140	145	150	155	160	165	170	175	180	185 ※1	188
	四種走高跳	A115 B150	120 155	125 158	130 161	135 164	140 167	145 170	150 173	155…以降スタートに同じ		
子	棒高跳	200	210	230	250	260	270	280	290	300	310	320
女	走高跳	120	125	130	135	140	145	150	155	160 ※1	163	166 ※2
	四種走高跳	A105 B120	110 125	115 128	120 131	125 134	128 137	131 140	134 143	125…以降スタートに同じ		

※1：全国及びU16標準記録 ※2：大会記録

以後、走高跳は3cm、棒高跳は10cmずつ上げる。四種競技においては、選手の意思により、上記A・Bの高さからの試技開始を選択できるものとする。(当日、現場で係が確認する)

(7)四種競技においては、上記の記録に達しない者、及び得点表にない記録は0点とする。

(8)リレーのオーダー用紙(複写)は、予選・決勝とも招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。

(9)リレー競技においては、同一ユニフォームを着用すること。(メーカーやタイプは問わない)

(10)リレーは学校(クラブ)単独チームとし、リレー2種目を兼ねることはできない。また、チーム間にまたがるメンバーの変更もできない。低学年4×100mRの登録は6名以内とし、各学年4名までとする。メンバーは、2年生2名、1年生2名とし、オーダーは自由とする。

(11)リレー競技のマーカ使用は1カ所のみとする。マーカ(50mm×400mm以内)は各チームで用意し、使用後はそのチームで処理すること。

11 表彰について

(1)各種目の1位から8位までの入賞した競技者に賞状を授与する。

各種目の表彰は、競技終了後、直ちに行う。

諸事情によっては表彰を行わない場合もある。その際、競技終了後、賞状を中体連本部まで取りに来ることとする。

(2)学校(クラブ)対抗(総合成績)の発表は大型スクリーン及び放送で行う。優勝チームには閉会式で賞状と優勝旗を授与する。それ以外の8位まで入賞したチームの監督は中体連本部まで賞状を取りに来る。

- 12 東北・全国大会 出場権 (1)4位までに入賞した選手及びリレーチームは、東北大会の出場権を得る。競技終了後、結果が判明したら、ただちに中体連本部（サブトラック大会運営室）で手続きをすること。
- (2)標準記録を突破した選手は、全国大会の出場資格およびU16陸上競技大会の申込資格（該当種目のみ、他の条件あり）を得る。結果が判明したら、ただちに中体連本部で手続きを行うこと。
- (3)荒天・災害のため、会期中に競技を終了できなかった場合は、県大会出場者ランキング上位4名に東北大会出場権を与える。

13 その他

- (1)諸手続き
- ①監督会議は7月14日(日)、8:20より室内練習場にて行う。監督会議資料は各地区中体連を通して事前に監督会議資料を配布するので、よく内容を確認すること。
- ②東北大会・全国大会の出場権を得た選手・リレーチームは、事務手続き（中体連本部）を各競技終了後に速やかに行なうこと。
- (2)会場使用注意
- ①シートやテントの設営（確保も含む）は、公平性を保つため7/14(日)・15(月)の開門時刻以降に行うこと。
- ②場内はシート類のみとする。また、テープ等を使用する場合は、養生テープなど跡が残ったり、傷がつかないようなものを使用すること。
(シート設営場所は2024年度各地区配置図を参考)
※観客席（スタンド全面）にはテント等を設営しないこと。
- ③場外にテントを設営する場合は決められた場所にする。
- ④場所取りのために、テント・ブルーシートを張ったまま帰らないこと。もし、違反していた場合には競技本部で撤去する。
- ⑤荷物を残していく場合は、テントは骨組みのみにし、シート類はたたんで隅に寄せること。また、風などで移動されないよう工夫し、施設や設備に損傷を与えないよう各校（クラブ）において責任を持つこと。紛失や破損等の対応はしない。また、大会終了後はテープやロープは完全撤去すること。
- ⑥サブトラック、投てき・アーチェリー場内の大会運営室に中体連本部を設置し、受付業務などを行う。
- ⑦競技区域及びサブトラックへの入場はIDカード（監督用、選手用）を携帯すること。
- ⑧本競技場内に横断幕・部旗・のぼり旗を設置する場合は1校（1クラブ）1枚とし、個人名入りの横断幕等は禁止する。設置する場合はメインスタンドは最上部、他は中段のフェンスに設置すること。のぼり旗は通路や座席を防ぐ形で設置しないよう気をつける。競技を行う上で支障がある時は、取り外してもらうことがある。
- ⑨会場入場時間は7/14(日)、15(月)とも6:30とする。
- ⑩サブトラック、投てき・アーチェリー場での練習は以下の通りとする。
- ・ 7/13(土) 10:00~12:00 14:30~16:00 (公式練習)
 - ・ 7/14(日) 7:00~18:00 (サブトラックのみ)
 - ・ 7/15(月) 7:00~15:00
- ⑪砲丸投の練習時間は競技時間に合わせて行うこととし、必ず顧問の教員又はコーチが現場に付くこと。

県中体連夏季大会競技日程

競技 1 日目 7月14日(日)

【トラック競技の部】

順	種別	種 目	予決	組-着+ α	時 刻	順	種別	種 目	予決	組-着+ α	時 刻
1	共男	四種110mH	決	4	9 : 15	13	共男	400m	予	4-1+4	13 : 35
2	共男	110mH	予	4-1+4	9 : 35	14	共女	800m	予	4-1+4	14 : 00
3	共女	四種100mH	決	4	10 : 00	15	共男	800m	予	4-1+4	14 : 25
4	共女	100mH	予	4-1+4	10 : 20	16	1 女	1500m	予	2-6	14 : 55
5	1 女	100m	予	4-1+4	10 : 45	17	1 男	1500m	予	2-6	15 : 15
6	1 男	100m	予	4-1+4	11 : 05	18	23女	1500m	予	2-6	15 : 35
7	2 女	100m	予	4-1+4	11 : 25	19	23男	1500m	予	2-6	15 : 55
8	2 男	100m	予	4-1+4	11 : 45	20	低女	4×100mR	予	4-1+4	16 : 20
9	3 女	100m	予	4-1+4	12 : 05	21	低男	4×100mR	予	4-1+4	16 : 40
10	3 男	100m	予	4-1+4	12 : 25	22	共女	4×100mR	予	4-1+4	17 : 00
11	共女	200m	予	4-1+4	12 : 50	23	共男	4×100mR	予	4-1+4	17 : 20
12	共男	200m	予	4-1+4	13 : 10						

【フィールド競技の部】

順	種別	種 目	予決	時 刻	競技ピット	順	種別	種 目	予決	時 刻	競技ピット
1	共男	棒 高 跳	決	10 : 00		4	共女	走 幅 跳	決	13 : 30	
2	共男	走 高 跳	決	10 : 00		5	共男	四種 砲丸投	決	13 : 30	
3	共男	砲 丸 投	決	10 : 00		6	共女	四種 走高跳	決	13 : 30	

県中体連夏季大会競技日程

競技2日目 7月15日(月)

【トラック競技の部】

順	種別	種目	予決	組-着+ α	時刻	順	種別	種目	予決	組-着+ α	時刻
1	1女	100m	決	1-8	9:30	13	1女	1500m	決	1-8	11:45
2	1男	100m	決	1-8	9:35	14	1男	1500m	決	1-8	11:55
3	2女	100m	決	1-8	9:45	15	23女	1500m	決	1-8	12:10
4	2男	100m	決	1-8	9:50	16	23男	1500m	決	1-8	12:20
5	3女	100m	決	1-8	10:00	17	共女	四種200m	決	4	12:35
6	3男	100m	決	1-8	10:05	18	共男	四種400m	決	4	12:50
7	共男	3000m	決	1-8	10:20	19	共女	800m	決	1-8	13:00
8	共女	200m	決	1-8	10:40	20	共男	800m	決	1-8	13:10
9	共男	200m	決	1-8	10:50	21	低女	4×100mR	決	1-8	13:20
10	共男	400m	決	1-8	11:05	22	低男	4×100mR	決	1-8	13:30
11	共女	100mH	決	1-8	11:20	23	共女	4×100mR	決	1-8	13:40
12	共男	110mH	決	1-8	11:30	24	共男	4×100mR	決	1-8	13:50

【フィールド競技の部】

順	種別	種目	予決	時刻	競技ピット	順	種別	種目	予決	時刻	競技ピット
1	共男	走幅跳	決	9:30		4	共女	砲丸投	決	11:30	
2	共女	四種砲丸投	決	9:30		5	共女	走高跳	決	11:30	
3	共男	四種走高跳	決	9:30							

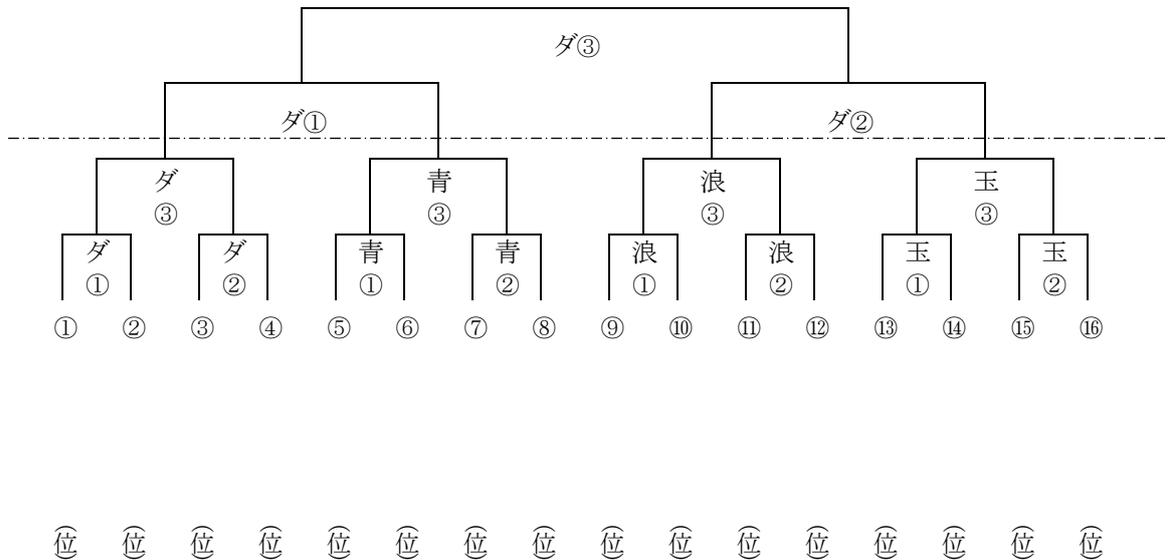
2 野 球 競 技

- 1 日 時 7月14日(日) 9:00 競技開始 (開門時間 7:00) 監督会議なし
7月15日(月) 9:00 競技開始 (開門時間 7:00)
7月16日(火) 予備日
- 2 会 場 ダイシンベースボールスタジアム 青森県総合運動公園野球場
浪岡総合運動公園浪岡野球場 玉松台スポーツガーデン野球場
- 3 競技規則
- (1) 2024年公認野球規則及び2024年(公財)全日本軟式野球連盟競技者必携の少年に関する事項及び特に定める特別規則を準用する。ただし、別紙のとおり、大会特別規定の事項についてはそれを用いる。
 - (2) 使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認M号球とする。
 - (3) 使用器具は(公財)全日本軟式野球連盟公認のものとする。
 - (4) 投手の投球制限は、1日100球とする。
 - (5) トーナメント方式とし、各試合は7回戦とする。試合続行不可能の場合は5回表以降をもって正式試合とみなす。暗黒・降雨で試合が途中で中止になった場合は、5回以前に中止になった場合(ノーゲーム)でも、5回を過ぎ正式試合になって同点で試合が中止の場合でも、原則として再試合にしないで、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。ただし、決勝戦は再試合とする。
 - (6) 点差によるコールドゲームは5回表以降が7点以上のときに適用する。
 - (7) 7回まで勝敗が決しないときには、特別延長戦を行う。
特別延長戦は次の方法で行う。

継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者は、順次前の打者とする。すなわち、無死1、2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。それでも勝敗が決しない場合は、以後継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様、規則によって認められる選手の交代は許される。
 - (8) 天候等による大会の実施の可否、試合の中断及び日程の変更は大会本部で決定し連絡する。なお、やむを得ない場合は、抽選により勝敗を決する場合もある。その場合、会場の変更やナイターで試合を行う場合もある。
 - (9) 試合会場の施設状況により、会場特別ルールを設定することもある。
 - (10) ベンチは組み合わせの番号の若い方を1塁側とする。ただし、1チームが2試合続けて行う場合はベンチの入れ替えをしないこともある。
 - (11) 用具装具については、試合前に審判員または大会役員の確認に応じなければならない。
 - (12) 試合を行っているチームの行為が原因で、試合続行が不可能となるようなトラブルが発生した場合は、起こしたチームが責任を負うべきであるから、そのチームを敗者とする。
 - (13) 選手の頭髮・身なりなどは中学生らしく、試合中はもちろんのこと、スポーツマンらしい態度で大会に参加すること。
 - (14) 応援団については監督又は引率責任者(代表責任者)が責任を持つ。
 - (15) その他、詳細規程については、出場チームに直接連絡する。
- 4 参加資格
- (1) 参加チームは以下の通りとする。
ア 6地区に出場枠を与える。
 - ①東青、中南、西北、三八は3チーム参加。
 - ②下北、上北は2チーム参加。
 - (2) 参加申込みは、別紙用紙(様式)を用いる。
 - (3) 1チームの編成は、監督1名、選手18名以内、記録者1名(生徒)とする。また、この他に教職員・部活動指導員を2名追加することができる。但し、外部指導者(コーチ)が入る場合は1名とし、計22名以内とする。なお、監督は背番号30、コーチは29、28の順でつけるものとする。
※外部コーチ…校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。
※引率責任者…監督または教職員が兼ねてもよい。地域クラブについては責任ある代表者(代表責任者)または指導者とする。

5 組み合わせ

ダ：ダイシンベースボールスタジアム 青：青森県総合運動公園野球場
 浪：浪岡総合運動公園浪岡野球場 玉：玉松台スポーツガーデン野球場



※試合開始予定時間（2試合との間隔を最低1時間あける。）

(1日目)	(2日目)
① 9:00 ~	① 9:00 ~
② 11:00 ~	② 11:00 ~
③ 第2試合終了1時間後	③ 第2試合終了1時間後

- 6 抽選方法**
- (1) 出場3枠の地区の1位チーム、2位チーム、3位チームが1回戦で対戦しないように振り分ける。
 - (2) 1位チームを先に抽選する。
 - (3) 1位チームが入ったブロックと別のブロックに同地区2位チームが入るよう抽選する。

- 7 東北大会
出場権**
- (1) 本大会における優勝・準優勝チームを東北大会への本県代表チームとして推薦する。但し、全日本少年軟式野球大会に参加申し込みしたチームは、東北大会へは推薦しない。また、そのチームが決勝に進出した場合は、代表決定戦を行う。
 - (2) 荒天・災害のため、会期中に競技を消化できなかった場合は、次のように推薦する。
 - ・競技が行われない場合は、勝ち残りチームで抽選を行う。
 - ・競技が途中で打ち切られた場合は、勝ち残りチームで抽選を行う。
 ただし、最終決定は県中体連会長が行う。

8 その他

〈荒天時の対応について〉

- ① 日程の変更を伴う場合のみ、電話連絡する。
- ② 各会場責任者は、県競技委員長に6:00までにグラウンド状況を報告する。
- ③ 県競技委員長から、地区委員長へ変更内容を電話連絡する。
- ④ 地区競技委員長から、出場チーム（引率者）へ電話連絡する。
- ⑤ 1会場のみ状況が悪い場合でも、日程を調整して実施する。連絡方法は、③④の通り。

3 ソフトボール競技

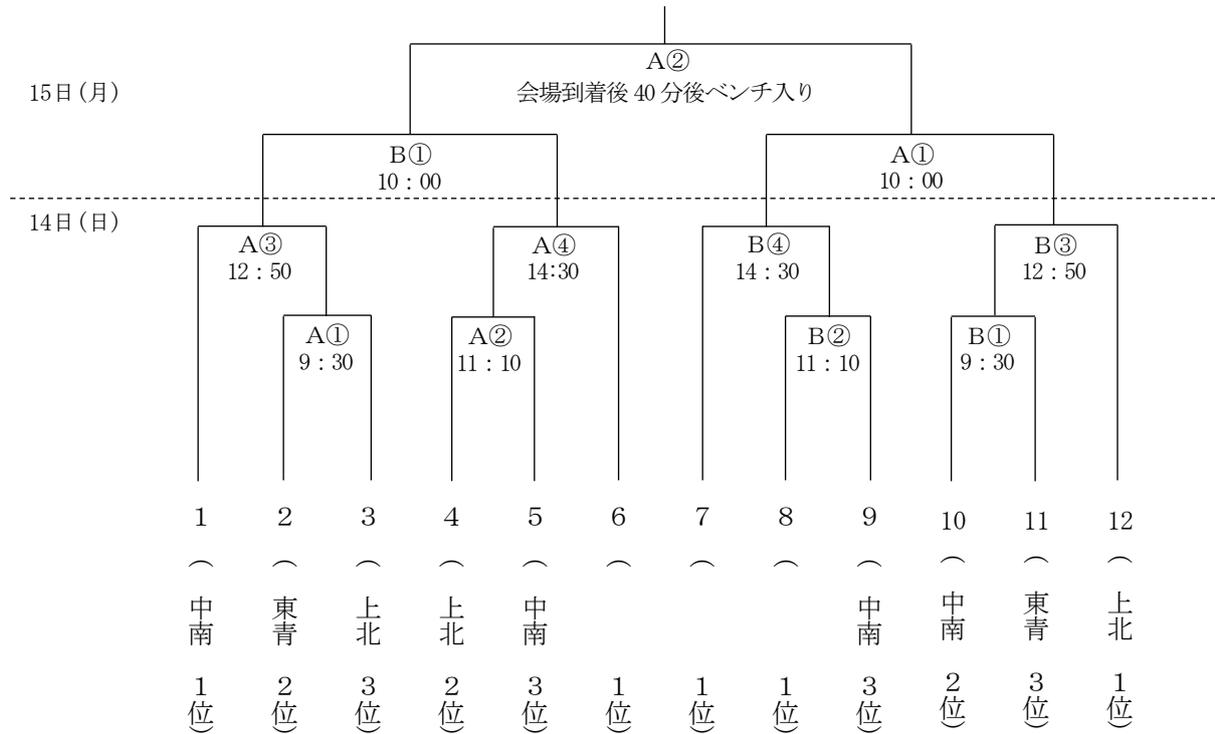
- 1 日 時 7月14日(日) 監督会議 8:00 平賀多目的広場ソフトボール場 (本部)
7月14日(日) 競技開始 9:30
7月15日(月) 競技開始 10:00
7月16日(火) 予備日
- 2 場 所 平川市運動施設
A球場 平賀多目的広場ソフトボール場
B球場 ひらかドーム
- 3 競技規則及び大会規定
- (1)ルールは、(公財)日本ソフトボール協会2024年度オフィシャルソフトボール及び、競技者必携大会規定による。
 - (2)3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差が生じた場合は、得点差コールドゲームを適用する。
 - (3)捕手は準備投球の時もスロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガースを着用する。捕手以外の選手が捕球するときは、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメットを着用する。監督・コーチが準備投球の捕手をする場合は、スロートガード付きマスクを着用する。また、捕手用ヘルメットを着用することが望ましい。
 - (4)金属製スパイク、セラミック製スパイクは禁止する。
 - (5)抗議(プロテスト)は、監督に限る。また、コーチのフィールドイング時以外のグラウンドに入ることは禁止する。
 - (6)サスペンデットゲームを採用する。
 - (7)7回終了時同点の場合は、8回よりタイブレークを適用する。
 - (8)熱中症対策として、120分を超えて次の回に入らない。その時点で同点の場合は、タイブレークを1回行う。それでも決着しない場合は、ラストメンバー(1チーム9名ずつ)による抽選とする。
 - (9)ベースコーチは選手のみとし、ヘルメットを着用する。
 - (10)雨天等でタイムテーブルに影響がある場合は、時間制やイニング制限を設けたり、抽選したりすることもあり得る。
- 4 参加資格 各地区3チーム(下北、上北は2チーム)とし、最大計12チームの出場とする。定められたチーム数に満たない時は、昨年度の県新人大会1位、2位地区に出場権を与える。ただし、地区からの出場は4チームまでとする。
- 5 チーム編成
- (1)選手は18名までとし、主将はユニフォームナンバー10をつける。
 - (2)ベンチ入り人数は、選手18名以内、監督1名、引率者1名以内、コーチ1名以内とする。
 - (3)監督のユニフォームナンバーは30、コーチは31または32とする。コーチのフィールドイングは認めるが、競技中はベンチから出られない。
 - (4)監督、引率者は当該校の教職員・部活動指導員とする。地域クラブについては責任ある代表者、または指導者とする。コーチは、当該校の教職員・部活動指導員、もしくは当該校の校長が承認した外部指導者とする。
 - (5)合同チームの場合も編成は同じとする。
- 6 抽選方法について
- (1)準決勝まで同地区と当たらないように抽選する。
 - (2)昨年度秋に行われた県新人大会1位・2位の地区をシード(1、12)する。
※令和5年度の結果は1位・平賀西中・平賀東中・尾上中、2位上北中・六戸中。よって中南の1位、上北地方の1位をシードする。
 - (3)東青1位が(7・8)から引く。

(4)下北1位と三八1位が6（7・8）から引く。

(5)中南の3位は5・9から引く。

7 組み合わせ

A 球 場 平賀多目的広場ソフトボール場
B 球 場 ひらかドーム



試合時間
(予定)

14日(日) ① 9:30～ ② 11:10～ ③ 12:50～ ④ 14:30～

15日(月) ① 10:00～ ②会場到着後40分後ベンチ入りとする。

※試合開始時間は、予定時刻のため、試合状況により前後することがある。

8 東北大会
出場権

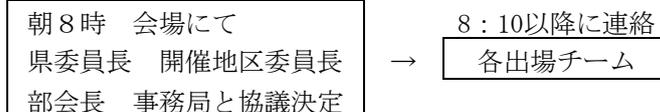
(1)本大会の上位2チームを8月2日(金)～3日(土)に福島県相馬市で行われる東北大会に推薦する。

(2)荒天・災害等により、会期中に競技を消化できなかった場合は、下記の方法で東北大会出場チームを決定する。

- ・ベスト4以上が決まった後に、試合が打ち切られた場合は、勝ち残ったチームで抽選を行い、東北大会出場チームを決定する。
- ・県大会が行われなかった時、または、ベスト4が決まる前に試合が打ち切られた時は、県新人大会の優勝地区である中南1位、準優勝地区である上北地方1位を推薦する。
- ・最終決定は県中体連会長が行う。

9 その他

- (1) 閉会式表彰について
閉会式は行わず、準決勝後、決勝後に当該球場で表彰を行う。
- (2) 14日の監督会議には全チームの監督が参加すること。
- (3) 【荒天時の連絡について】



4 サッカー競技

- 1 日 時 監督会議は行わない。事前に資料配付とする。
7月14日(日) 競技開始 10:00
7月15日(月) 競技開始 10:00
- 2 場 所 弘前市運動公園陸上競技場
弘前市運動公園球技場
岩木山総合公園多目的グラウンドA
岩木山総合公園多目的グラウンドB
- 3 競技規定 (1)(公財)日本サッカー協会制定の2023/2024年度『サッカー競技規則』による。但し、以下のように制定する。
(2)参加チームは学校単独チームか、合同チームの場合は『青森県中学校体育大会における複数校合同チーム参加規定』を満たしたチーム、または令和6年度(公財)日本サッカー協会に第3種(その他)登録した加盟チームで選手18名以内とし、変更は各チームの受付時で行い、これを最終とする。
(3)ベンチ入りできるのは選手18名以内と監督・コーチ・引率者かマネージャー(生徒)の3名以内で監督は当該校の教職員・部活動指導員とする。引率者は当該校の教職員とする。地域クラブについては責任ある代表者、または指導者とする。
中体連チームのコーチについては校長の認めたものとする。なお、各チームは必ず帯同審判員を同行するものとする。
監督、コーチ、引率者かマネージャーとして登録した者は、当該校の試合中はベンチ以外でのコーチング・観戦等はできないものとする。
(4)交代に関しては、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から、7名までの交代が認められ、一度退いた競技者も再び出場できる。但し、交代の手続きは従来通りサッカー競技規則第3条に則って行う。
(5)試合球は5号球とし、競技規則第2条に適合するもので、大会本部において準備する。
(6)本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場することができない。なお、決勝戦での退場による出場停止処分の未消化分は東北大会へ引き継がれる。
(7)本大会期間中、警告を2回受けた選手は次の1試合に出場できない。
- 4 競技方法 (1)ノックアウト方式とし、3位決定戦は行わない。
(2)試合時間は60分(30分ハーフ・ハーフタイムは10分間)とする。
勝敗が決しないときは、PK方式により次回戦に進出するチーム及び優勝チームを決定する。
(3)飲水タイムや気温に応じてクーリングブレイクを設ける。
(4)テクニカルエリアを設け、ベンチ入りした役員(引率・監督・コーチ)のうち、その都度1名がその範囲内で指示することができる。
(5)アディショナルタイム表示を行う。
(6)準決勝が終了して、2時間以上空けて決勝戦を行うことを原則とする。
(7)マネージャーズミーティングを試合開始70分前に行う。
- 5 ユニフォーム (1)ユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)は、1着以上を参加申込書で登録し、それを着用するものとしてすべてを携行すること。(2着以上の持参が好ましい。)ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
(2)ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる(ビブス等も可)。
(3)審判員と同一色または、類似色(黒または紺)のユニフォームをシャツに用いることはできない。また、パンツ又はストッキングのいずれかは黒でも可とする。ゴールキーパーについても同様である。
(4)主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。
(5)シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手番号(1~99番まで)をつけること。

パンツの番号についてはつけることが望ましい。(副のユニフォームについても同様である。)選手番号の大きさは、シャツの背中中で縦25cm程度、前面で縦10cm程度、パンツにつける場合は縦8cm程度とし、それぞれ横はこれに比例して適当な大きさとし、番号は見やすいものとする。なお、ユニフォームのシャツが縞(縦縞も横縞も)の場合は、台布等(縦30cm×横30cm位)に背番号を付け、分かりやすくすること。

(6)ソックスにテープまたはその他の材質を貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

(7)アンダーシャツ、アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。

6 東北大会出場について

本大会において、決勝進出2チームを東北大会に推薦する。

荒天・災害により、会期中に競技を消化できなかった場合、東北大会の出場チームは勝ち残っているチームより抽選、または、競技部による会議を経て、推薦チームを選出し、県中体連会長が決定する。

7 参加チーム

各地区代表3チーム(上北・下北は2チーム)ずつ計16チームとする。

※令和6年度は下北からは1チーム参加のため、計15チームで大会を行う。

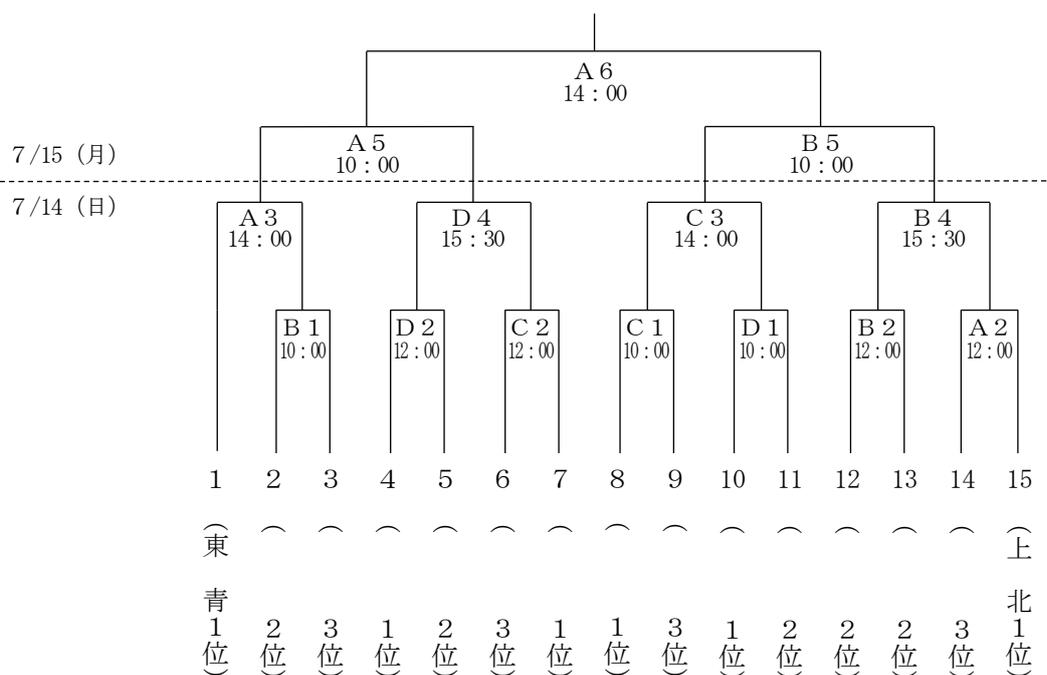
8 組み合わせ

A : 弘前市運動公園陸上競技場

B : 弘前市運動公園球技場

C : 岩木山総合公園多目的グラウンドA

D : 岩木山総合公園多目的グラウンドB



※ベンチは本部テントからグラウンドに向かい左側を、組み合わせ番号(1~15)の小さいチームが使う。

9 抽選について

(1)昨年度の県秋季大会、1、2位チームの地区を1と15に入れる。(東青・上北)

(2)1回戦で地区代表・地域クラブ1位同士が対戦しないようにする。

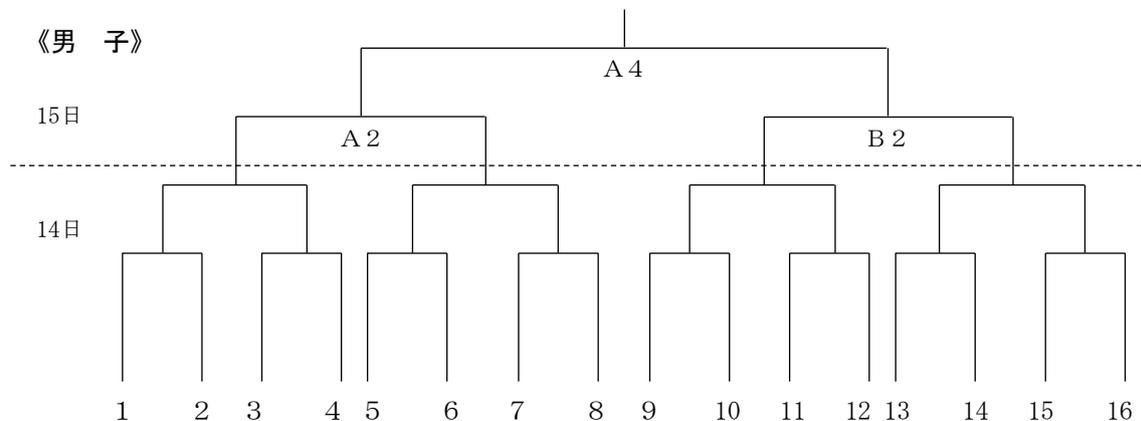
(3)同地区第2代表をブロック分けする。

(4)同地区の第1代表と第3代表が同じブロックにならないように分ける。

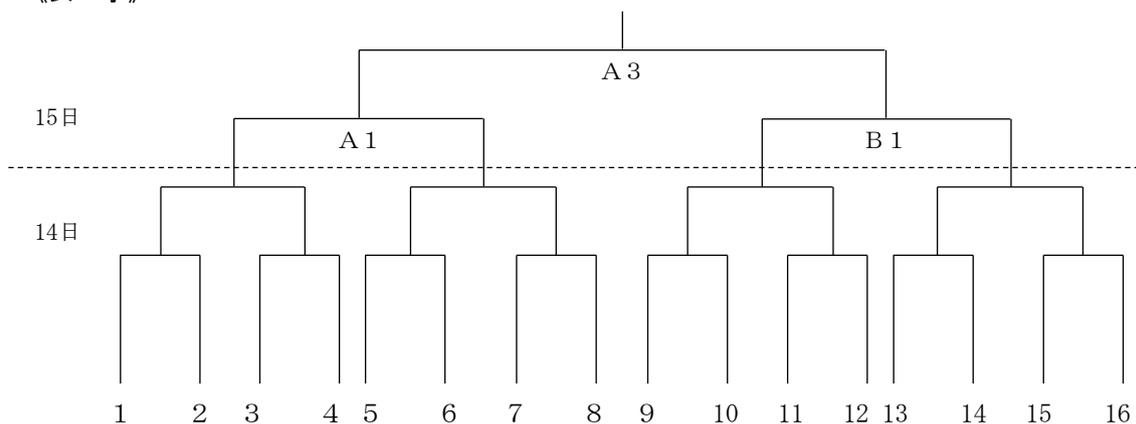
5 バスケットボール競技

- 1 日 時 7月14日(日) 競技開始 9:30～ (開館 伊藤鉦業アリーナ 8:00
五所川原市民体育館 8:20) 監督会議なし
7月15日(月) 競技開始 9:30～ (開館 8:00)
- 2 場 所 伊藤鉦業アリーナつがる (A・Bコート) 五所川原市民体育館 (C・Dコート)
- 3 競技規則 (1)現行(2023～)の(公財)日本バスケットボール協会競技規則による。ただし、ユニフォームについては従来通りとする。またゾーンディフェンスを禁止とし、マンツーマンコミッショナーを配置して、マンツーマンディフェンスを監督・管理する。その際、マンツーマンディフェンス基準規則に違反と判断された場合、1回目は警告のみとし、改善しない場合は2回目の警告が成され、マンツーマンペナルティーとして対処する。なお、ゲーム終了間際(第4ピリオド・延長時限)残り2分を切ったからの違反については、1回目の警告でもマンツーマンペナルティーの対象とする。
- (2)16チームのトーナメント形式で行う。
- (3)試合球は、モルテンまたはミカサの8面体を使用する。
- (4)各地区から参加できるチーム数は、東青3、中南3、西北3、三八3、上北2、下北2とする。
- (5)チーム編成については、下記に準ずる。
- ①1チームの編成は、監督・引率責任者1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手15名、合計19名以内とする。
- ②部活動チームは、監督・引率責任者は当該校の教職員・部活動指導員とする。コーチ、アシスタントコーチについてはどちらか1名教職員以外でも構わない。その場合、指導者ライセンスD級以上の者で、当該校の校長が認めた者とする。また、マネージャーは、教職員又は生徒とする。
- ③クラブチームは、監督・引率責任者1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名とする。ベンチに入る者は、指導者ライセンス取得を必須とし、ベンチで指揮をとる者は、D級以上の者とする。
- (6)ベンチはテーブルオフィシャルに向かって番号の若い方が右側、ユニフォームは白色とする。
- (7)番号は0～99までの番号とする。

- 4 試合方法 トーナメント形式による。



《女子》



◎試合会場

伊藤鉦業アリーナつがる（A・Bコート） 五所川原市民体育館（C・Dコート）

◎タイムテーブル

1日目（7/14）開始時間		2日目（7/15）開始時間	
① 9：30	④ 13：30	① 9：30	④ 13：30
② 10：50	⑤ 14：50	② 10：50	* 15：00(男子決勝戦終了後)
③ 12：10	⑥ 16：10	③ 12：10	※閉会式・表彰式

- 5 抽選方法 (1)本年度の県春季大会のベスト4地区をシードし、4分割トーナメントに配分する。
(県春季大会は第3・第4シード決定戦を行う)
(2)同じ地区が同ゾーン（2分割）に入らないように、地区の1位と2位を振り分けるが、県春季大会の結果により、同じ地区が同ゾーンに入る場合がある。その場合は同じ地区が準決勝まで対戦しないようにする。ただし、同地区の1位と3位または2位と3位は、2回戦から対戦することもある。
(3)上記を踏まえて、県中学校春季バスケットボール大会の結果をもとに抽選する。
※春季県大会が行われなかった場合、令和5年度秋季県大会の結果を反映する。
- 6 確認事項 男女で出場しているチームを考慮し、組合わせ抽選後に会場・タイムテーブルを調整する。
- 7 会場使用上の注意 (1)ギャラリーのたたく、立ったままでの応援、許可なくビデオ撮影すること等を禁止する。
(2)駐車場の使用については、会場及び主催者の注意を守る(観客ありの場合)。
- 8 東北大会出場について (1)本大会において、男女各1～2位のチーム（合計4チーム）を8月9日～10日に山形県天童市で行われる東北大会に推薦する。
(2)荒天・災害のため会期中に競技を消化できなかった場合は、県春季大会の1位と2位のチームを推薦する。
※県春季大会が行われなかった場合は、部会長及び各地区委員長を中心に協議し県中体連会長が決定する。

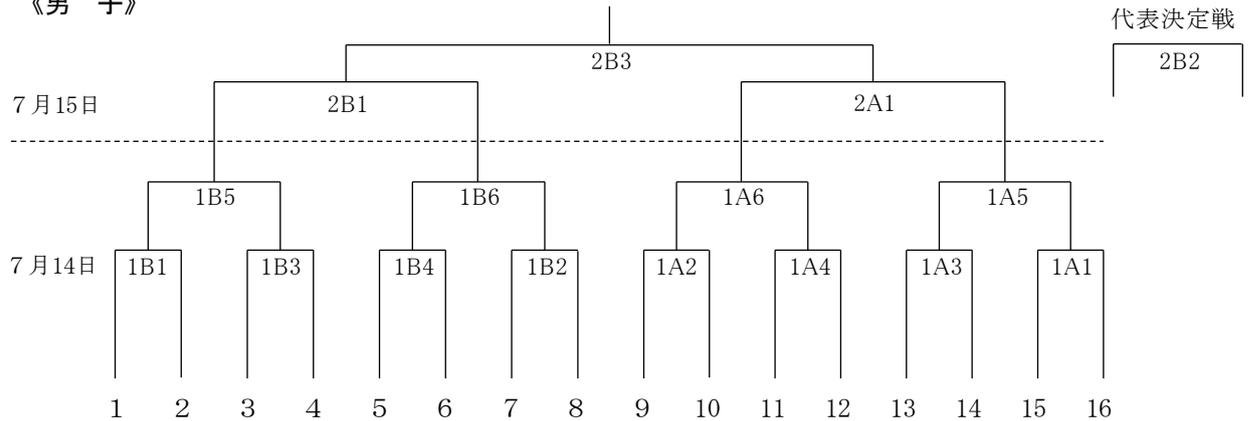
6 バレーボール競技

- 1 日 時 7月14日(日) 競技開始 9:00 (男女1~2回戦) (開館 8:00)
7月15日(月) 競技開始 9:00 (男女準決勝~) (開館 8:00)
- 2 場 所 新青森県総合運動公園マエダアリーナ (男女2日間)
- 3 競技規則 (1)2024年度(公財)バレーボール協会制定6人制競技規則及び競技要項による。
(2)本大会において、給水のためのタイムアウトを採用する。
- 4 競技方法 トーナメント法、3セットマッチとする。
- 5 チーム構成 チーム構成は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とし、監督は当該校の教職員・部活動指導員とする。コーチは当該校の校長が認めた者とする。マネージャーは生徒に限る。地域クラブの監督・コーチは、責任ある代表者または指導者とする。
- 6 参加チーム (1)各地区大会の結果、出場権を得た、東青、中南、西北、三八は3チーム、上北、下北は2チームとする。
(2)男女それぞれ16チームとする。
- 7 抽選について (1)組合せ表の1、8、9、16をシードとし、それぞれ第1、第4、第3、第2シードとする。
(2)県春季大会の1位~4位の地区をシードする。
(3)上記をふまえて、同地区の1位と2位が1/2ゾーンに、3位が1/4ゾーンに入らないように、振分けオープンにて抽選する。ただし、県春季大会の結果によって同地区が1/2ゾーンに入った場合は、同地区で1位と2位が1/2ゾーンに入る地区がある。
(4)先に残りの1位を抽選し、次に2位、3位の順に抽選する。
- 8 競技上の確認事項 (1)試合間10分の合同練習を設定する。連続試合の場合は、15分の合同練習を設定する。
(2)ベンチ及びフロアには登録された監督、コーチ、マネージャー及び選手以外は入ることはできない。
(3)外部コーチは校長が認めた者で、参加申込みの際に「外部コーチ確認書」を提出すること。
(4)監督・コーチ・マネージャーマークは左胸部につけること。チームキャプテンは、胸の背番号の下に規定のマークをつけること。
(5)監督・コーチの服装は統一された服装でベンチに入ること。また、マナーについては十分に留意すること。
(6)エントリーの変更について
① 申し込み時の選手名と変更がある場合は、職印(代表者印)が押印された新たなメンバー表を当日のチーム受付で提出すること。
② 外部コーチに変更がある場合は、職印が押印された新たな「外部コーチ確認書」を当日のチーム受付で提出すること。
- 9 日 程 (1)7月14日(開館 8:00)
8:00~ フリー練習
8:39~ 第1試合チームのコート練習
8:49 プロトコール
9:00 競技開始
(2)7月15日(開館 8:00)
8:00~ フリー練習
8:39~ 第1試合チームのコート練習
8:49 プロトコール
9:00 競技開始
- 10 東北大会出場について 本大会において、1位~3位チームを青森県で行われる東北大会に推薦する。(男女各3チーム)
(1)3位2チームで代表決定戦を行う。
(2)開催日: 8月8日(木)~10日(土)
場 所: 新青森県総合運動公園マエダアリーナ
(3)荒天・災害のため会期中に競技を消化できなかった場合は次のようにする。
①大会の開催が不可能である場合、推薦チームは第1シードチーム、第2シードチーム、第3シードチームとする。辞退チームがある場合は第4シードチームに権利が移る。出場枠3に満たない場合は、地区1位チームから抽選により決定する。
②大会が開催され、試合が成立している場合は、その結果を有効とする。その上で、

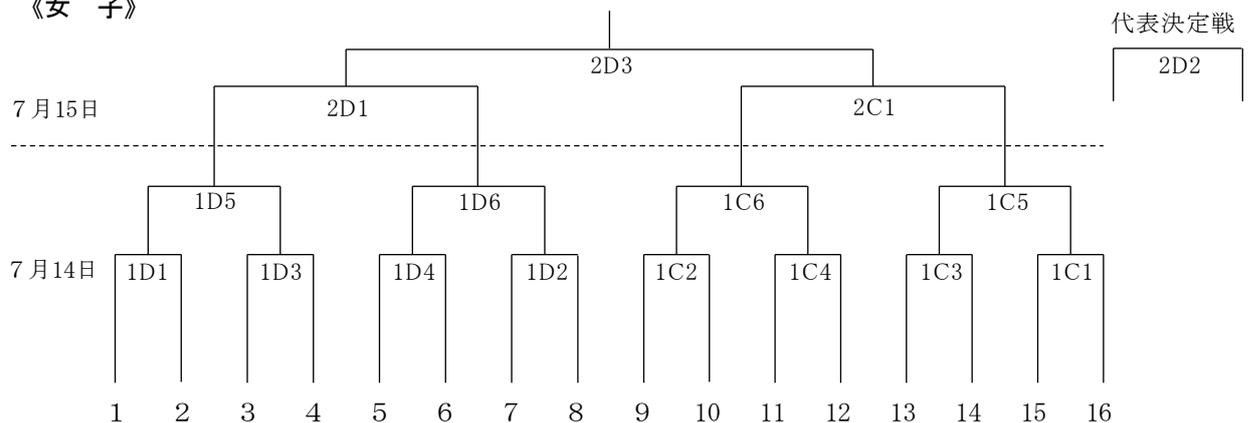
勝ち残りのチームを対象に、最上位シードチームから推薦する。出場枠3に満たない場合は、勝ち残りの地区1位チームからの抽選により決定する。地区1位チームが勝ち残っていない場合は、勝ち残りの地区2位チームからの抽選により決定する。最終決定は県中体連会長が行う。

- 11 確認事項 (1)フロアは土足厳禁です。盗難防止のため下足は各自で管理すること。
 (2)会場に選手の控室はありません。選手は指定された観客席を利用すること。貴重品はチームで責任を持って管理すること。
 (3)ゴミはチームの責任で必ず持ち帰ること。
 (4)立入禁止の表示がある場所には入らないこと。
- 12 その他 7月9日(火)17:00よりオンラインによる監督ミーティングを行い、共通理解の場とする。
- 13 組み合わせ

《男子》



《女子》



7 バドミントン競技

- 1 日 時 7月14日(日) 団体戦・個人戦
- 8:00 開館
 - 8:05 練習開始(10分交替で練習)
 - 8:10 監督会議
 - 8:40 開始式(放送にて、選手は観覧席で聞く)
 - 9:00 競技開始(団体戦決勝・個人戦)

- 7月15日(月)
- 8:00 開館
 - 9:00 競技開始(個人戦決勝まで)

2 場 所 スポカルイン黒石

3 競技規則 **【全般的】**

- (1)大会要項及び、令和6年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程に準じて実施する。
- (2)令和6年度(公財)日本バドミントン協会第1種もしくは第2種検定に合格した水鳥シャトルを使用する。
- (3)抗議は認めない。不審な点は、該当プレーヤーか監督が礼儀正しく質問する。

【団体戦】

- (1)団体戦の男女各チームは2ダブルス、1シングルスで構成し、選手5～7名と監督(教職員・部活動指導員、地区中体連に申請済みのクラブチームの指導者)1名、マネージャー(教職員・生徒)もしくはコーチ(校長が認めた者、地区中体連に申請済みのクラブチームの指導者)1名とする。
地域クラブについては責任ある代表者または指導者とする。
- (2)団体戦の勝敗は2点先取制とする。団体戦の1回戦にかぎり、勝敗がついても第2ダブルスの1セット目までは行う。
- (3)試合の進行状況により、コートを2面、3面にわたって試合を進めることがある。
- (4)オーダーは試合20分前(または指示のあった時刻まで)に記録係に提出する。
- (5)試合の順序は第1ダブルス、シングルス、第2ダブルスの順とする。
- (6)練習はマッチごとに2分ずつ行う。

【個人戦】

- (1)個人戦でベンチ入りできるのは、監督(教職員、部活動指導員、地区中体連に申請済みのクラブチームの指導者)、マネージャー(教職員・生徒)もしくはコーチ(校長が認めた者、地区中体連に申請済みのクラブチームの指導者)1名、アドバイザー(教職員、部活動指導員、校長が認めた者、地区中体連に申請済みのクラブチームの指導者)1名、のうち2名までとする。
- (2)練習は同時に3分とする。

【審判上の注意】

- (1)抗議は認めない。不審な点は、該当プレーヤーか監督が礼儀正しく質問する。
- (2)次の行為は厳に慎む。
 - ①必要以上の汗ふきや靴のひもの結び直し。
 - ②極端に遅いレシーバーの構え、サーバーの長い静止。
 - ③相手を威圧するような行為・発声・声援。

- 4 競技方法 (1)団体戦、個人戦ともトーナメント戦方式で行い、第3代表決定戦を行う。
(2)団体戦は2複1単で行う。
- 5 表彰 (1)団体戦は3位までに団体賞状及び個人賞状を与える。
(2)個人戦は5位（ベスト8）までに個人賞状を与える。
- 6 参加資格及び制限 **【団体戦】**
(1)東青、中南、西北、三八地区は各地区中体連夏季大会を通過した代表3チーム以内とする。上北地区、下北地区は代表2チーム以内とする。但し、県春季大会でベスト4に3つ以上入賞した地区に、別枠として代表を1チーム与える。
(2)同一選手が単と複を兼ねて出場できない。
【個人戦】
(1)東青、中南、西北、三八地区は各地区中体連夏季大会を通過した代表シングルス8以内、ダブルス8以内とする。
上北地区、下北地区は代表シングルス4以内、ダブルス4以内とする。
但し、県春季大会シングルス・ダブルスのそれぞれ1～4位の地区に、別枠として代表を1枠ずつ与える。
(2)個人戦は単複を兼ねて出場することはできない。
- 7 組み合わせ 参加数によりトーナメントを作成する。
- 8 抽選方法 (1)県中学校春季バドミントン選手権大会の各種目ベスト4の地区をシードする。
(2)団体戦では、地区順位を優先して抽選し同地区が一回戦であたらないようにする。
- 9 東北大会出場について (1)男女とも団体戦・個人戦の第3代表までを東北大会に推薦する。
(2)荒天・災害のため会期中に競技を消化できない場合、県春季大会の結果を参考として、最終決定は県中体連会長が行う。
- 10 その他 (1)検定ウェアを着用すること。上衣の背面中央部に、学校名及び姓を入れて、同姓の選手がいる場合は名前の一文字目を小さく入れる。マークの大きさは、縦 15 cm、横 30 cm。文字は鮮明な日本語で入れること。

弘 前 東 中 太 田 理

(2)選手変更等について

<団体戦>

- ・団体戦で申し込み後に選手を変更する場合は、所定の用紙により、当該チームの校長・クラブチームの代表者により、県専門委員長を通して大会本部に届け出る。監督会議後の変更は認めない。

<個人戦>

- ①ダブルスに出場予定の選手のうちの一人が病気等の事情により大会に出場できない場合は、所定の用紙により当該チームの校長・クラブチームの代表者により県専門委員長を通して、大会本部に届け出、1日目の監督会議で確認する。その場合は当該チームから個人戦に登録されていない選手を補充できる。
ダブルスの組二人とも出場不可能な場合は、当該チームの校長・クラブチームの代表者より大会本部に出場辞退届を提出し、県専門委員長に報告し、監督会議で確認する。
- ②シングルスに出場予定の選手が大会に出場できない場合は、当該チームの校長・クラブチームの代表者より大会本部に出場辞退届を提出し、県専門委員長に報告し、監督会議で確認する。

8 ソフトテニス競技

- 1 日 時 7月14日(日) 《個人戦》
8:00 選手受付
8:00 コート開放
8:45 開始式
9:00 競技開始
16:30 表彰及び1日目競技終了
7月15日(月) 《団体戦》
8:00 選手受付
8:00 コート開放
8:45 開始式
9:00 競技開始
16:00 表彰及び2日目競技終了
7月16日(火) 予備日 (八戸市東運動公園テニスコート)
- 2 場 所 八戸市東運動公園テニスコート (砂入り人工芝コート10面)
- 3 参加資格 団体戦…各地区代表男女各3チーム以内 (東青、西北、中南、三八)、2チーム以内 (上北、下北)
男女各校 (クラブ) 1チーム (4人~8人) とする。
個人戦…各地区代表男女各12組以内 (東青、西北、中南、三八)、8組以内 (上北、下北)
- 4 監 督 (1)監督は、1組または1チームに対し、当該校の教職員1名または部活動指導員1名とする。地域クラブについては、責任ある代表者または指導者とする。
(2)個人戦に2組以上出場する場合は、1組ずつに監督を1名つけることができる。
(3)監督の服装は、スポーツウェアとし、テニスシューズを着用すること。また、監督のIDカードを首から下げるものとする。
- 5 競技規則 現行の (公財) 日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」および大会要項による。
- 6 競技方法 (1)団体戦…トーナメント方式の3ペアによる点取り対抗戦とし、2回戦以降は2面展開で行う (7ゲームマッチ)。ただし、各チームの初戦は全3対戦を行うものとする。
(2)個人戦 (ダブルス) …トーナメント方式とする (7ゲームマッチ)。
(3)使用球…公認球 (白) を使用する。
個人—男子ダンロップ、女子ケンコー
団体—アカエム
(4)天候等の理由により、競技方法及びゲーム数等を変更することがある。
(5)各コートにコート主任を置き、原則、選手による敗者審判とする。
- 7 表 彰 団体戦は1位、2位、3位を表彰し、同時に2位まで個人賞を与える。個人戦は上位8組 (準々決勝進出まで) を表彰する。
- 8 抽選について 団体戦…前年度の県下新人大会の成績をもとに4チームをシードする。その際、シードは各地区に与えるものとする。なお、各地区のシード数は最大2とする。組み合わせは各地区の1位同士がぶつからないよう、また、同地区の1位と2位を左右にわけるよう抽選する。3チーム出場する地区は、準決勝までに同地区対戦がないようにする。
個人戦…前年度の県下新人大会の成績をもとに8組をシードする。その際、シードは各地区に与えるものとする。なお、各地区のシード数は最大4とする。組み合わせの作成は県中体連専門委員長が組み合わせ委員会を組織し行う。

9 東北大会出場 (1)団体戦…男女各上位2チーム
について 個人戦…男女各上位6組

(2)荒天・災害のため、会期中に競技を消化できなかった場合、東北大会出場チーム及びペアの選出については、青森県中体連ソフトテニス専門部が定める災害時の選定方法に基づき、青森県中体連事務局、専門部会長及び専門部との協議の上、対応する。

10 その他 (1)選手変更について

①団体戦で申し込み後メンバーを変更する場合、所定の用紙により申し出ることができる。該当するチームは団体戦受付時までに大会本部に届け出ること。ただし、その後の変更は認めない。

②個人戦で、ペアの内1名が病気等で出場不可能になった場合、当該選手に代わる1名のメンバー変更を所定の用紙により申し出ることができる。該当するチームは個人戦受付時までに大会本部に届け出ること。ただし、その後の変更は認めない。

③6月24日の大会運営委員会までに組2名とも出場不可能になった場合には、当該校(クラブ)の校長(代表責任者)は地区委員長に届け出る。地区委員長は予選の成績をもとに次の組を推薦し、大会本部に届け出ること。
大会運営委員会以降後に組2名とも出場不可能になった場合には原則棄権とする。ただし、個人戦に2組以上出場しているチームで、それぞれ1名が病気等で出場不可能となった場合、同条件の支障のない選手同士がペアを組んで出場することができる。その場合、該当するチームは大会当日8:00までに、メンバー変更を大会本部に届け出ることができる。その際、いずれの組み合わせに配置するかは、大会本部が決める。

(2)団体戦のオーダーは毎回本部に提出する。(本部の用紙を使用する。)

(3)個人戦の申し込みは成績順とする。

(4)ベンチサイドは、組み合わせ番号の早い方を本部側とする。

(5)競技中ベンチに入れるのは、次のとおりとする。

団体戦…選手8名以内、監督あるいは外部コーチ1名

個人戦…選手2名、監督あるいは外部コーチ1名

(6)審判への質問は、団体戦においてはプレーヤーあるいはベンチ入りしている監督(または外部コーチ)、個人戦においてはプレーヤーがマナーを守り、マッチの進行に支障とならないように行うこと。

(7)競技進行に留意すること。呼び出し後5分経過で警告1回とし、3回をもって失格とする。

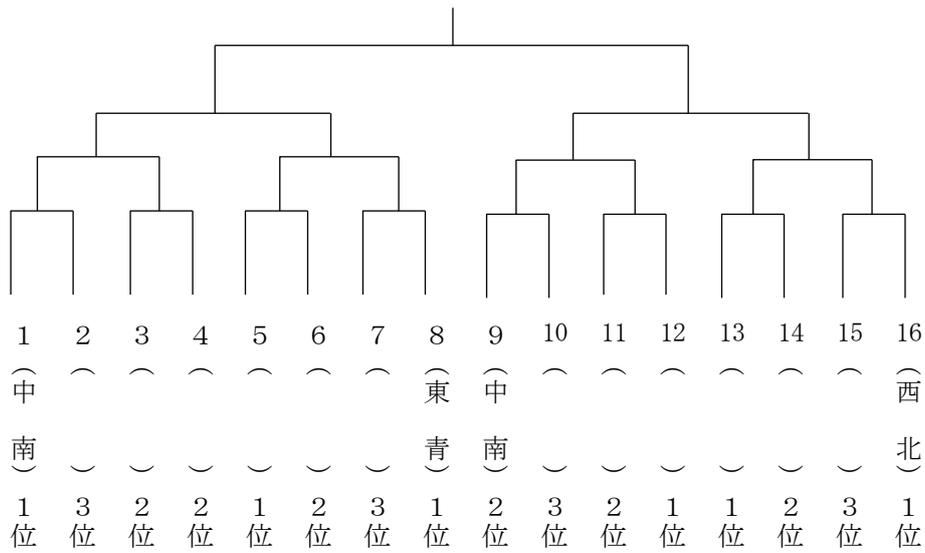
(8)選手の服装・ゼッケンについては、別紙「青森県中体連ソフトテニス競技専門部服装規定」に準ずる。

(9)外部コーチ確認書は、県大会申込書と同時に提出すること。また、外部コーチは別に定める外部コーチに関する規定を満たしていること。服装は監督に準じ、コーチのIDカードを首から下げる。

(10)外部コーチは、1組または1チームに対し、1名とする。

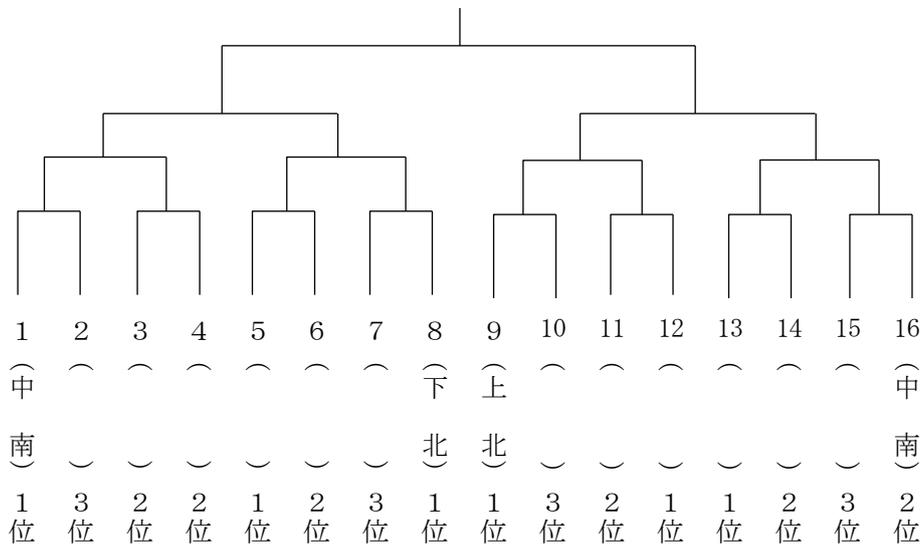
ソフトテニス競技団体戦組み合わせ

《男子》



- 抽選手順1・・・各地区の1位の抽選：三八、上北、下北
- 抽選手順2・・・各地区の2位の抽選：左ブロック（右ブロックに1位が入った地区）
右ブロック（左ブロックに1位が入った地区）
- 抽選手順3・・・各地区の3位の抽選：準決勝までに同地区対戦がないブロック

《女子》



- 抽選手順1・・・各地区の1位の抽選：東青、三八、西北
- 抽選手順2・・・各地区の2位の抽選：左ブロック（右ブロックに1位が入った地区）
右ブロック（左ブロックに1位が入った地区）
- 抽選手順3・・・各地区の3位の抽選：準決勝までに同地区対戦がないブロック

9 卓 球 競 技

- 1 日 時 1 日目 7月14日(日)
開 館 8:00 ※コート練習 ～9:00
監督会議 8:20
開 始 式 9:00
競 技 9:30～16:30 女子団体、男子個人
2 日目 7月15日(月)
開 館 8:00 ※コート練習 ～9:00
監督会議 8:20
競 技 9:30～16:30 男子団体、女子個人
- 2 場 所 八戸市体育館
- 3 競技規則 現行の(公財)日本卓球協会が制定した日本卓球ルール及び県中体連卓球競技特別規則(監督会議申し合わせ事項)を準用する。11本5ゲームマッチとする。
- 4 競技方法 (1)団体戦
① 男女別で行う。
② 4単1複の5試合(6人制)、3点先取法で行う。(S・S・D・S・S)
③ 単と複に重複して出場することはできない。
④ トーナメント方式とする。
(2)個人戦
① 男女ともシングルスのみとし、トーナメント方式による。
(3)試合球は日本卓球協会公認球とする。(Nittaku PREMIUM CLEAN 40+)
(4)試合に出場する選手は必ずゼッケンを装着しなければならない。
(5)団体戦、個人戦とも各ゲーム間に1分間以内の休憩を認める。
- 5 参加資格 (1)団体戦:上北・下北男女代表各2チーム以内、左記以外男女代表各3チーム以内
(2)個人戦:上北・下北男女代表各12名以内、左記以外男女代表各16名以内
- 6 抽選方法 (1)団体戦:前年度県新人戦ベスト4校の所属する地区にシード権を与える。その後は、抽選とする。ただし、同一地区が初戦で対戦しないようにする。
(2)個人戦:点数制を採用する。前年度県中体(東北大会、全国大会含む)、県新人戦、今年度県中学校選手権の合計点数により、得点者のシード位置を決定する。その後は県中体連卓球専門部が責任をもって組み合わせを作成する。
- 7 監督会議 監督会議は実施する。ただし、事前に資料を配付し、質問・確認がある場合には、地区中体連卓球競技部を通して県中体連卓球専門部に問い合わせること。
- 8 引率・監督等 (1)引率・監督は出場校の教職員・部活動指導員とする。地域クラブについては責任ある代表者または指導者とする。
(2)大会では、アドバイザーをおくことができる。
①団体戦のアドバイザーは、出場校の教職員または校長が認めた満20歳以上の外部指導員とする。地域クラブにおいては、代表者が認めた指導者とする。
②個人戦のアドバイザーは、監督・出場校の教職員・校長(クラブ代表者)が認めた満20歳以上の外部指導員(指導者)・同チームの生徒のいずれかとする。
(3)ベンチは次の通りとする。
①団体戦…同一チームの選手6～8名、監督1名、アドバイザー1名をもって編成・登録し、ベンチ入りすることができる。ただし、全校生徒が4～5名の場合でも出場を認める。その場合、5名の場合は1番、4名の場合は1・2番を棄権とする。
②個人戦…選手1名につきアドバイザー1名がベンチ入りすることができる。
*監督・アドバイザー(生徒は除く)はそれぞれ指定の記章をつけることとし、白系色の服装は不可とする。
- 9 東北大会 出場枠 (1)団体戦:男女各3チーム
(2)個人戦:男女各8名
(3)荒天・災害等のため会期中に競技を消化できなかった場合、組み合わせ作成に使用し

た得点表をもとにした順位付け、または抽選によって東北大会への出場チーム、出場者を推薦し、県中体連会長が決定する。

- 10 登録変更 登録メンバー等の変更は大会当日8時20分までに変更届出用紙（職印代表者印必要）を提出することにより認められる。（追加登録はできない。）

*変更届出用紙は次のものを満たすものとする。

（日付・変更前選手（監督・アドバイザー）名・変更後選手（監督・アドバイザー）名・中学校（クラブ）名・校長（代表者）名・職印（代表者印））

- 11 その他 (1)閉会式は行わない。表彰は随時行う。
(2)館内へは、各チームごとに入場者全員揃って入場する。

会場使用について

■ 持ち物・履物

1. ゴミは各自でお持ち帰りください。お弁当の容器も業者に引き取ってもらうか、持ち帰りでの対応をお願いします。また、お帰りの際には、応援席に置き忘れがないようにしてください。
2. 貴重品の管理を十分をお願いします。
3. 会場内は土足厳禁です。また、内履きのまま屋外に出るのも厳禁です。外履きを入れる袋を準備し、応援席まで持って上がってください。

■ 応援席

1. 地区ごとに、控え場所を観客席に割り当てております。
2. 試合観戦や応援の際には、譲り合ってくださいませよう、お願いします。
3. 避難口確保のため、非常口付近には荷物等を置かないでください。
4. 暗幕やブラインド（遮光カーテン）には手を触れないでください。

■ 放送

1. 原則、放送をしないで試合を進行します。タイムテーブルをよく確認して、余裕をもって行動してください。コート変更や有事の際の放送には、十分に耳を傾けてください。
2. Jアラート警報や緊急地震速報が鳴った場合、直ちに試合を中断し、避難を指示する放送をします。

■ その他

1. ラバーの貼り替えは、指定の場所で行ってください。
2. 会場内でのフラッシュ撮影は禁止です。また、撮影した写真や動画をSNS等にアップロードすることがないようにしてください。
3. 館内でのアメ・ガムの飲食は禁じられています。
4. トイレは、きれいに使用してください。
5. 試合に関係のない場所（会議室等）は立入禁止です。
6. 館内は全面禁煙です。
7. 競技フロア内に入れるのは、大会・競技役員、監督、選手、アドバイザー、その他主催者から必要と認められた者のみとなります。
8. 館内で、不審な人物や迷惑行為をする人物を見かけましたら、すぐに本部まで連絡をお願いします。

10 柔道 競 技

- 1 日 時 7月14日(日) 7月15日(月)
- | | | | |
|-----------|------------|-------------|-----------|
| (1) 開場時間 | 8:00 | (1) 開場時間 | 8:00 |
| (2) 受付・計量 | 8:30～9:30 | (2) 選手・役員集合 | 9:10 |
| 柔道衣検査 | 8:30～9:30 | (3) 審判打ち合わせ | 9:30～9:40 |
| (3) 審判会議 | 9:40～9:55 | (4) 試合開始 | 10:00～ |
| (4) 監督会議 | 9:55～10:10 | (5) 2日目終了 | 13:00 |
| (5) 開会式 | 10:20～ | | |
| (6) 試合開始 | 10:40～ | | |
- ・団体戦 男子・女子とも決勝戦まで。
 ・個人戦 男子ベスト8、女子ベスト8が出そろうまで。
 ただし、17:00をすぎて次の試合に入らない。
- (7) 1日目終了 17:00
- 2 場 所 三沢市武道館
- 3 監 督 参加生徒の監督は、当該校の教職員・部活動指導員とする。地域クラブについては責任ある代表者または指導者とする。
- 4 参 加 数 (1) 各地区代表のチームおよび個人とする。
 (2) 団体戦は、上北・下北地区男子・女子ともに2チーム、他地区は男子・女子ともに3チームとする。
 (3) チームは1校・1団体（地域クラブ）単位で編成したチームとする。
 1チームの人員は、監督1名、登録済みコーチ1名、男子8名以内、女子5名以内とし、試合ごとに選手の位置を変えることはできない。チームの編成は、体重の最も重いものを大将とし、以下順次体重順に編成すること。
 (4) 個人戦は男子8階級・女子8階級で、各階級とも上北・下北地区男子4名、女子3名とし、他地区は男子6名、女子4名とする。
 地区大会に出場した選手に限る。
- | | | | | |
|--|-------|--------|-------|--------|
| | (男 子) | | (女 子) | |
| | 50kg級 | 73kg級 | 40kg級 | 57kg級 |
| | 55kg級 | 81kg級 | 44kg級 | 63kg級 |
| | 60kg級 | 90kg級 | 48kg級 | 70kg級 |
| | 66kg級 | 90kg超級 | 52kg級 | 70kg超級 |
- 5 計 量 (公財)全日本柔道連盟発行柔道大会・試合運営要領(第2版)により以下の通り計量を行う。
 公式計量の30分前から非公式計量(仮計量)を行う。非公式計量では、時間内に自由に体重を測定することができる。
- (1) 団 体 戦
- ①公式計量は、1回である。
 - ②公式計量は、本大会で指定された時間内で終了すること。
 - ③公式計量の服装は、男子は下穿きのみ、女子はTシャツと下穿きのみを着用とする。
(下着は認める。包帯サポーター等の着用は一切認めない。)
 - ④チームごとに選手、補欠全員測定を行うこと。
 - ⑤順番の入れ替え等があった場合は通知する。
- (2) 個 人 戦
- ①公式計量は、1回である。
 - ②公式計量は、本大会で指定された時間内で終了すること。
 - ③公式計量では、定められた階級の体重区分内にはないものは失格とする。(柔道衣等の重さは含まない。)
- 6 競 技 規 則 (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」による。
 (2) 勝敗の判定基準は次の通りとする。

- ①団体試合の個々の試合においては、「一本」「技有」又は「僅差（【指導】の差2）」とする。
優劣の成り立ちは以下のとおりとし、それに満たない場合は「引き分け」とする。

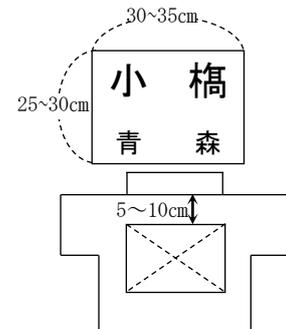
「一本」＝「反則勝ち」＞「技有」＞「僅差」

チーム間の内容が同等の場合は、任意の選手による代表戦を行う。代表戦の判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。代表戦で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。

- ②個人試合の勝敗の判定基準は、「一本」「技有」又は「僅差（【指導】の差2）」とする。得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。両者反則負けの場合には、次の試合に進めない。
- (3) 試合時間は、団体試合・個人試合とも3分間とする。延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
- (4) 有段者は、黒帯を用いること。
(講道館から正式に段位証明書が交付されている者。)
- (5) 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地の丸首Tシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
- (6) ゼッケンの着用

柔道衣にゼッケン〔学校名（クラブ名）・名字入り〕を縫いつけて出場すること。

- (例) ①布地は白色（晒、太綾）
②サイズは横30～35cm、縦25～30cm
③名字（姓）は上側2／3
④学校名（クラブ名）は下側1／3
⑤書体は太字ゴシック体（明朝体でも良い）
男子は黒色・女子は赤色
⑥縫いつけの場所は後ろ襟から
5～10cm下部で、対角
線にも強い糸で縫いつけをする。
⑦（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿き、帯）を着用すること。



7 競技方法

(1) 団体戦

- ①参加チームによって、トーナメント戦を行い優勝を決定する。
②トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
ア チーム間における勝ち点の数による。
イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
ウ イにおいて同等の場合は、チームから選抜した代表戦（1名）により決定する。
※順位決定のための代表戦で両者反則負けとなった場合は「両チーム負け」とする。その際、監督立ち合いのもと、当該選手による抽選で順位を決定する。ただし、記録上は同等とする。

(2) 個人戦

- ①参加選手でトーナメント戦を行い、各階級ごとに優勝を決定する。
②各階級参加人数が3名の場合はリーグ戦で決定する。
※試合前に怪我や軽量オーバー失格等により、参加人数が3名になった場合は競技部長、各地区競技委員長、審判長で確認し、当該校顧問（代表責任者）の了解の上、リーグ戦とする。
③順位決定に関わる試合で両者反則負けとなった場合の順位決定方法は、監督立ち合いのもと、当該選手による抽選で順位を決定する。ただし、記録上は同等とする。

8 表彰

(1) 団体戦

第1位から第3位までのチームを表彰する。

(2) 個人戦

第1位から準々決勝進出者までを表彰する。

- 9 申し合わせ事項
- (1) 審判の判定に抗議してはならない。
 - (2) 監督・審判会議には、競技委員と参加チーム監督（顧問）、クラブ責任者、審判員以外の参加は認めない。
（コーチは参加できない）
 - (3) 試合場・フロア内には、監督・登録済みのコーチ・選手以外は入られない。
 - (4) 「試合場におけるコーチの振る舞い」について、「脳震盪対応について」を適用する。
 - (5) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。
 - (6) 各チームで紅白帯を準備する。
- 10 抽 選
- (1) 団 体 戦
 - ① 県中学校春季柔道大会の上位入賞チーム（男子4・女子2）の地区をシードする。
 - ② シード後は同地区チームが同ブロックに入らないよう振り分け、先に1位チームを次に2位チームを抽選する。
 - (2) 個 人 戦
 - ① 男女とも青森県中学校新人柔道大会上位入賞者、男子4名・女子2名の地区をシードする。
- 11 全国大会
- 12 東北大会
- 13 その他
- (1) 必要事項については、監督会議において連絡する。
 - (2) 荒天・災害のため会期中に競技を消化できなかった場合、東北・全国大会出場チーム（選手）の選出は以下のようにする。
団体チームは今年度の春季大会の結果を考慮し、個人選手は昨年度県新人大会の結果を考慮し、（但し、同じ階級にエントリーした選手とする）競技部長と8地区専門委員長が相談、了承を得て推薦し、県中体連会長が決定する。

11 剣道競技

1 日 時 7月13日(土) 公式練習 11:00~15:00 七戸町総合アリーナ (アリーナ)
 地区委員長会議 10:30~ " (研修室)
 監督会議 13:00~ " "

7月14日(日) 開館時間 8:00
 竹刀検量 8:10~10:30
 審判会議 8:20 " "
 開始式 9:00
 競技開始 9:30

・個人戦2回戦まで 9:30~12:30

	1 試合場	2 試合場	3 試合場	4 試合場
女子 → 男子	1 ~ 16	17 ~ 32	33 ~ 48	49 ~ 64

・団体予選リーグ 12:30~16:00

	1 試合場	2 試合場	3 試合場	4 試合場
女子 → 男子	3-4	7-8	11-12	15-16
	1-2	5-6	9-10	13-14
	2-4	6-8	10-12	14-16
	1-3	5-7	9-11	13-15
	2-3	6-7	10-11	14-15
	1-4	5-8	9-12	13-16

15日(月) 開館時間 8:00
 竹刀検量 8:10~10:30
 審判・監督会議 8:30 七戸町総合アリーナ (研修室)
 集合連絡 9:00
 競技開始 9:20

・個人戦3回戦以上 (ベスト16以上) 9:20~11:30

	1 試合場	2 試合場	3 試合場	4 試合場
女子3・4回戦 (3試合)	1 ~ 16	17 ~ 32	33 ~ 48	49 ~ 64
男子3・4回戦 (3試合)	1 ~ 16	17 ~ 32	33 ~ 48	49 ~ 64
準決勝・決勝 (3試合)	男子	女子		

・団体戦決勝トーナメント 11:30~14:00

	1 試合場	2 試合場	3 試合場	4 試合場
女子1回戦 (1試合)	A1-C2	D2-B1	C1-A2	B2-D1
男子1回戦 (1試合)	A1-C2	D2-B1	C1-A2	B2-D1
準決勝 (1試合)	男子A1~B1	女子A1~B1	男子C1~D1	女子C1~D1
決勝 (1試合)	男子	女子		

競技終了 14:00
 閉会式 14:15

2 場 所 七戸町総合アリーナ

- 3 参加資格
 ・編成
- (1) 団体戦 1チーム男女とも監督1名、コーチ1名、選手5名以内、補員2名以内とし、監督は当該校の教職員、または部活動指導員、コーチは当該校の校長が認めた者とする。(監督・コーチはプレートをつける) 地域クラブにおいては、監督・コーチは責任ある代表者、または指導者とする。(監督・コーチはプレートをつける) 東青、中南、西北、三八地区代表は男女3チームまでとする。上北、下北地区代表は男女2チームまでとする。
 - (2) 個人戦 東青、中南、西北、三八地区代表は男女12名までとする。上北、下北地区代表は男女8名までとする。学校においては、監督は当該校の教職員、部活動指導

員とする。コーチは、当該校の校長が認めた者とする。地域クラブにおいては、監督・コーチは責任ある代表者または指導者とする。

4 方 法

- (1) 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」及び青森県中体連剣道競技申し合わせ事項による。また、新型コロナウイルス感染症拡大が収束するまでの暫定的な試合・審判法に基づき実施する。
- (2) 竹刀の長さは114cm以内のもので、重さは男子440g以上、女子400g以上とする。竹刀先端の太さを男子25mm以上、女子24mm以上、先革の長さは50mm以上とする。ちくとう最小直径を男子20mm以上、女子19mm以上とする。
- (3) 試合時間 ①団体戦……3分 予選リーグ、決勝トーナメントともに延長は行わない。
②個人戦……3分 延長戦は2分刻みで行う。
※個人戦、団体戦（代表者戦）による延長については、2回続いた後、深呼吸程度の小休止を与え、さらに2回続いた場合には3分間の休息・給水をとらせる。以降、勝敗の決するまで繰り返して行う。
- (4) 団体戦、個人戦とも3本勝負とする。
- (5) 団体戦は勝者数法。各予選リーグ1位と2位は決勝トーナメントへ進出する。
- (6) 予選リーグ戦の順位決定を次のようにする。
 - ①得点によるチームの勝ちを1点、引き分けを0.5点、負けを0点。
 - ②得点と同じ場合には、チームの勝数の多いチームを勝ちとする。
 - ③②でも同じ場合には、勝者数の総数による。
 - ④③でも同じ場合には、取得本数の総数による。
 - ⑤④でも同じ場合には、代表戦3分の1本勝負を行う。延長の場合は2分刻みで行う。
 - ⑥2位が決まらない場合は、代表戦3分の1本勝負を行う。延長の場合は2分刻みで行う。
 - ⑦リーグ1・2位が3・4すくみのときは、任意の代表者による代表戦を3分間3本勝負延長2分刻みで勝敗の決するまで行う。

5 競技上の注意

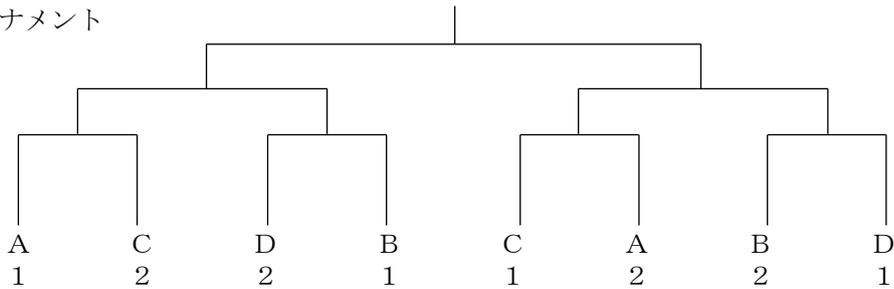
- (1) 原則として、所属地区の監督は審判しない。
- (2) 選手交代（代表戦選手の宣告も含む）及び試合に対する異議申し立ては監督のみとし、コーチはできない。
- (3) 各チームは出場時間10分前に必ず試合場で待つこと。
- (4) オーダー変更は認めない。選手交代は、補欠が2人まで交代することはできる。
- (5) 選手交代は、選手整列前に本部（開催地区委員長）に申し出ること。
- (6) 選手は「前垂」の中央上部に横書きで校名又は地域クラブ名を、縦書きで姓を黒い布地に白抜きまたは、白刺繍、白張りの字を記した名札をつける。（着用していない場合は出場を認めない。）
- (7) 足にけがをしている場合は、テーピング及びサポーター（市販の剣道用のもの：青森県中体連申し合わせ事項による）の使用を認める。
- (8) 竹刀の検量は1日目、2日目ともに行うので必ず検量すること。
- (9) 面紐の長さは結び目から40cm以内とする（厳守）
- (10) 団体戦においては選手が5人に満たない場合、次鋒、副将の順で欠員とする。
- (11) 監督・コーチの服装は、男子が白シャツ、グレー系のズボン、ネクタイ。女子は白シャツ、グレー系のスカートまたはズボンとし、選手と同じように監督席で礼をし、先鋒・大将の試合時には正座をすること。
- (12) 試合場には監督・登録済みのコーチ・選手以外は入られない。
- (13) 監督席には監督のみ入ることとする。（個人戦が重なった場合はコーチも認めることとする。）

6 全国・東北大会について

- (1) 全国大会について
 - ① 団体戦……男女とも1位チームを推薦する。
 - ② 個人戦……男女とも1位と2位を推薦する。
- (2) 東北大会について
 - ① 団体戦……男女とも1位～4位チームを推薦する。3位・4位の順位はそれぞれ、1位2位に負けたチームとする。
 - ② 個人戦……個人戦上位8名を推薦する。
- (3) 荒天・災害のため、会期中に競技を消化できなかったすべての場合において、団体戦・個人戦ともに、ポイント上位を優先し、剣道専門部で協議して推薦し、県中体連会長が決定することとする。

7 組み合わせ（団体戦）

□決勝トーナメント



□予選リーグ



8 抽選方法 ア 団体戦

- (1) 組み合わせ表 1・5・9・13をシードし、それぞれ第1・第4・第3・第2シードとする。
- (2) 県新人大会及び県春季大会の成績のポイントにより上位4地区の1位チームをシードとする。
- (3) 8・12に他の1位チームを抽選する。
- (4) ①ブロックに1位が入っている地区の2位チームを11・15・16に抽選する。
②ブロックに1位が入っている地区の2位チームを3・4・7に抽選する。

イ 個人戦

- (1) 県新人大会及び県春季大会の成績ポイントにより上位4地区をシードし、その後フリー抽選とする。

※5月7日の地区委員長会議で抽選し、6月24日の抽選会で確認する。

9 その他 竹刀の検量について

	8：10～9：00	9：00～10：30	10：30～
7月14日(日)	女子のみ検量(検量場所)	男女検量(検量場所)	男女検量(本部で)
7月15日(月)	個人戦出場者 女子検量(検量場所)	男女検量(検量場所)	男女検量(本部で)

青森県中体連剣道競技申し合わせ事項

本申し合わせ事項は、日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項ならびに東北中体連剣道申し合わせ事項に基づき作成している

令和6年5月7日現在

【試合・審判規則に関わること】

- 1 開始線の位置は中心より1.4mとする。
- 2 足袋・サポーター（剣道専用）、テーピング（スポンジ入り禁止）の使用は医療上必要な場合認める。あらかじめ、試合場の審判主任に申し出て許可を得る。（足の指に巻く程度はテーピングとしない。）
- 3 不正竹刀を使用した場合はその使用者は相手に2本を与えて負けとし、その後の試合には出場できない。ただし、リーグ戦・決勝トーナメントともその試合のみとし、前の試合にさかのぼらない。その後の試合においては不正竹刀使用者にかわって補員の出場を認める。また、団体戦・個人戦は別扱いとする。
この場合不正竹刀とは
①「ビニールやセロテープを巻いた竹刀」
②「異物を挿入した竹刀」（異物とは先革のゴム、柄頭のチギリ以外のもの全てをいう）
③合印のついていない竹刀をいう。（片方がとれた場合はただちに本部にて検量し直す）
※試合中に片方が取れた竹刀が発見された場合は中断し、本部にて検量し直す。
- 4 身体に特別な事情のある者（本部・競技委員長まで届け出る）以外の上段技、片手技は認めない。また突き技は反則とし、二刀は禁止する。
- 5 倒れた瞬間の一本は有効とする。（危険なときは直ちにやめをかけ間をおかない）
- 6 「変形な構え等の防御姿勢」をとった場合は、1回目は「合議」の上「指導」、2回目以降は「合議」のうち「反則」とする。（公正を害する行為）
- 7 竹刀の弦が回った状態の時は一度指導し、次からは有効打突と認めない。

【試合運営に関わること】

- 1 試合場には、監督、コーチ（校長又は地域クラブの責任者が認めた者）、選手、補員、以外は入らないこと。
- 2 学校単位で出場する監督は当該校の教職員または部活動指導員とする。地域クラブで出場する監督は当該地域クラブの責任有る代表者又は指導者とする。監督の変更は原則として認めない。
- 3 選手（補員を含む）は前垂に学校名、又は地域クラブ名、氏名を明記した名札をつける。名札をつけない者は出場を認めない。名札は下の図を参照のこと。
- 4 オーダーの変更は認めない。違反した場合はそのチームの違反選手を負けとする。選手の交代については、当日競技委員長に申し出る。一度交代した者（棄権した者）は、再出場を認めない。
- 5 試合開始とは「始め」の宣告後立って構えてからとする。試合終了は、ホイッスルを優先する。
- 6 つばは固定すること。つばは、革色（白、茶系統）のものを使用すること。また、柄は、滑り止め（ゴム等）や模様等のない無地のもので白色とする。
- 7 剣道着、袴は紺または白を原則とする。（袴の刺繍は原則として禁止とする）また、剣道着の袖は、肘関節を保護する長さを確保したものを原則とする。
- 8 面ひもは、結び目から40cm以内とし、長い場合は切ること。また、面乳革は黒か濃紺で華美でないものとする。
- 9 監督・コーチの服装は、男子が白シャツ、白またはグレー系のズボン、ネクタイ、女子は白シャツ、白またはグレー系のスカートまたはズボンとし、選手と同じように監督席で礼をし、先鋒、大将の試合時には正座すること。
- 10 試合中の応援は拍手のみとする。
- 11 会場内（競技場・観覧席）へ応援旗・激励旗は持ち込まないこと。
- 12 監督・コーチは選手激励のため、非紳士的言動にはしらぬように厳重に注意すること。選手控え席への

時計機能を有する機器の持ち込み、サイン等による指示や試合者への声援などをしてはならない。試合終了者への指導については、試合が終了後、試合場外（アリーナの外、廊下など）で指導する。（応援の父母等も含む）

13 竹刀検量に持ってくる竹刀は

- (1)竹刀の柄部位に学校名又は地域クラブ名と名前を記していること。
- (2)前大会までに使用した合印は、きれいにはがしておくこと。

14 オーダーミスについては以下のようにする。

- (1) 試合開始前に発覚した場合は正規のオーダーに改めさせ、特に罰則は与えない。
- (2) 試合中あるいは試合後に発覚した場合は次のように措置する。

（例えば、先鋒と次鋒のオーダーミス）

*先鋒、次鋒とも相手に2本を与えて負けとする。

*先鋒、次鋒とも既得本数は認めない。

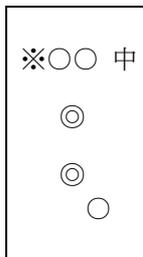
- (3) オーダーミスのあったチームが勝ちあがった場合は次のように措置する。

（例えば、先鋒と次鋒のオーダーミス）

*ミスのあった2選手の以後の出場は認めない。

*補員の出場は認める。

※ 名札は、黒か紺に白で学校名又は地域クラブ名と姓を記入すること。



※学校名又は地域クラブ名が入る。

姓

同姓の者がいるときは頭文字
(二人いる場合どちらかに必ず入っていること)

12 相 撲 競 技

1 日 時 7月14日(日) 10:30～ 審判会議・監督会議
11:00～ 競技開始
団体リーグ戦・学年別個人戦（予選・決勝トーナメントまたはリーグ戦）
15:00 競技終了

2 場 所 青森県武道館

3 参加チーム (1)団体戦について

・編成

- ①各校または地域クラブから1チームのみ参加できる。
- ②チーム編成は、選手3名、交代選手2名で編成する。
- ③県大会からの参加とする。
- ④地域クラブから参加する選手は、(公財)日本相撲連盟に登録をし参加申込書に登録番号を記入する。

(2)個人戦

- ①学年毎とする。
- ②県大会からの参加とする。
- ③地域クラブから参加する選手は、(公財)日本相撲連盟に登録をし参加申込書に登録番号を記入する。
- ④地域クラブから団体戦に出場する選手は、個人戦も地域クラブから参加すること。

(3)監督

- ①監督は当該校の教職員・部活動指導員とする。
※「部活動指導員」については、「青森県中学校体育大会夏季大会要項 9 監督及びコーチ【部活動指導員】」を参照する。
- ②地域クラブの監督については、責任ある代表者又は指導者とし、青森県相撲連盟「相撲クラブ・道場等の代表規定」を適用する。
 - ・(公財)日本相撲連盟の正会員であること。
 - ・(公財)日本相撲連盟段位審査認定の四段以上であること。
 - ・(公財)日本相撲連盟開催の審判講習会を2年ごとに受講していること。

4 申込方法

青森県中学校体育連盟ホームページより申込書をダウンロードし、必要事項を記入し、押印の上、郵送先へ6月20日(木)までに3部郵送すること。また、併せて申込書のデータを6月20日(木)までに送信先にメールすること。

郵送先・送信先

〒038-2731

西津軽郡鰺ヶ沢町赤石町字大和田27

鰺ヶ沢町立鰺ヶ沢中学校

青森県中学校体育連盟相撲専門部

委員長 乳井 博誉

TEL: 0173-72-3083

E-mail: aocyu_sumo@yahoo.co.jp

5 競技規定

(公財)日本相撲連盟の競技会規程および審判規程ならびに審判規程補足を原則として用いて行う。

6 競技方法

- (1)団体戦はリーグ戦とし、勝数得点で順位を決定する。但し、同点の場合は再度対戦して決定する。
- (2)団体戦のメンバー変更は原則として1名とする。但し、競技中に選手が怪我等をした場合については、各地区競技委員長が話し合い、2名の変更を認めることもある。
- (3)団体戦に棄権があった場合、監督会議前であれば対戦をしない。競技中に怪我等で団体戦メンバーが1名以下になった場合、棄権とする。その後の対戦校は勝ちとし、団体出場選手に準ずる得点をあたえる。
- (4)学年別個人戦は予選4ブロック(A・B・C・D)のリーグ方式によって各リーグか

ら上位2名を決める。その合計8名で決勝トーナメント戦を行う。決勝トーナメントの抽選は、各リーグ1位の選手を分散するよう競技会場にて本人抽選を行う。その後2位の選手が抽選を行う。ただし、同チームの対戦は避けるようにする。東北大会の出場順位決定戦を以下の通り行う。

- ・準決勝戦の敗者同士で3位・4位を決める。
- ・準々決勝戦の第1試合と第2試合の敗者同士で勝敗を決める。
- ・準々決勝戦の第3試合と第4試合の敗者同士で勝敗を決める。
- ・準々決勝戦の敗者同士の対戦の勝者同士で5位・6位を決める。
- ・準々決勝戦の敗者同士の対戦の敗者同士で7位・8位を決める。

(5)学年別個人戦への申込者が12人未満の場合、総あたりのリーグ戦を行う。

(6)選手は立礼をし、勝ち名乗りはそんきょをして受ける。

(7)立ち合いは「待たなし」。「両手を同時」について、主審のかけ声で立つこと。

7 抽選について

(1)専門部の責任抽選とする。

8 全国大会・東北大会

出場について

(1)団体戦、1位チームに全国大会への出場権を与える。

(2)団体戦、上位4チームまで東北大会への出場権を与える。

(3)個人戦、各学年5位まで東北大会への出場権を与える。

(4)荒天・災害等により大会が実施不可能な場合の出場について、下記のとおりとする。

・昨年度の青森県新人相撲大会の結果を基本とするが、専門部会長、各地区委員長が協議し県中体連会長が決定する。

・前年度青森県新人相撲大会が実施されていない場合

①代替大会を行い決定する。

②代替大会が行えないときは、専門部会長、各地区委員長が協議し県中体連会長が決定する。

【全国大会】

①団体戦

ア 昨年度の青森県新人相撲大会の優勝チームに全国大会への出場権を与える。

【東北大会】

①団体戦

ア 昨年度の青森県新人相撲大会の上位4チームまで東北大会への出場権を与える。

②個人戦

ア 2年生、3年生においては、昨年度の青森県新人相撲大会の学年別個人戦5位まで東北大会の出場権を与える。

イ 1年生においては、青森県中学校体育大会夏季大会以前（中学校に入学してから）の大会を参考にし、専門部会長、各地区委員長が協議し県中体連会長が決定する。

【全国大会・東北大会出場に辞退が出た場合】

①団体戦、個人戦ともに繰り上げて出場権を与える。

9 その他

(1)荒天の場合も、相撲場に集合して監督会議を開き、競技開始を決定する。

(2)審判（副審）は各地区の委員長及び監督が交代で行うこともある。

13 体 操 競 技

- 1 日 時 7月13日(土)
13:00 開場・受付け
13:30～男子フリー練習 (90)
15:00～女子フリー練習
16:40 閉館
7月14日(日)
(体操競技男子) (体操競技女子)
8:00～ 開場・準備 12:15～フリー練習
8:30～ フリー練習 13:15～公式練習開始
9:15～ 公式練習開始 14:20～演技開始
10:20～ 演技開始 15:40 演技終了
11:40 演技終了 16:00～女子閉会式
12:00～ 男子閉会式
- 2 場 所 弘前学院聖愛高等学校
- 3 参加資格 (1)体操競技のチーム(学校・クラブ)から1チームまで出場できる。(チーム4名補欠2名)
(2)体操競技の個人は、チーム構成員以外が出場できる。ただし、地区大会に出場した者。(補欠なし)
- 4 採点規則 〈男子〉・(公財)日本体操協会制定 2022年版男子採点規則・2022年度版中学校男子適用規則(U-15)
〈女子〉・(公財)日本体操協会制定 2022年版女子採点規則・変更規則I女子体操競技情報最新版までを適用
- 5 競技方法 ①種目 男子:ゆか、あん馬、跳馬、鉄棒
女子:跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆか
②方法
ア 団体総合成績はあん馬(男子)、段違い平行棒(女子)を除いた3種目のベスト3総合得点により決定する。
イ 個人総合成績は、男子は4種目の演技、女子は演技の総合得点により決定する。
ウ 種目別成績は、男子は各種目の演技の合計点、女子は演技の得点により決定する。
- 6 東北大会出場権 (1)体操競技団体は男女とも上位2チーム。
(2)体操競技個人は男女とも(1)の団体を除いた、個人総合上位4名。
(3)辞退した場合は、順次繰り上げて推薦するが、選手選考後はいかなる場合も変更しない。
(4)荒天、災害のため会期中に競技を消化できなかった場合の東北・全国大会出場チーム(選手)の選出方法は、各地区の結果をもとに抽選によって決定する。参加チームや選手数によって、抽選枠は考慮して行う。
- 7 コーチ及びテクニカルアドバイザーについて
(1)外部コーチ:校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。
(2)テクニカルアドバイザー:中学校の教職員で当該校以外の他の中学校の補助、指導を行う者。
- 8 その他 (1)監督は、監督会議に必ず出席しなければならない。
(2)伴奏音楽は、音楽を記録した記録媒体を参加選手が持参し、使用すること。
(3)撮影する場合は、撮影許可が必要となる。
(4)器具については会場にあるものを使用する。
(5)ゼッケンは、西洋紙1/4大の白布に番号を男子は黒、女子は赤で記入する。
(6)当該チーム監督と外部コーチ(1名)またはテクニカルアドバイザー(1名)以外は競技場に立ち入ることはできない。
(7)選手は、それぞれの学校(クラブ)を示すマークをつけて出場しなければならない。男子については、3cm×3cm以上、女子は30cm²以上を推奨する。

14 新体操男子

- 1 日 時 7月14日(日) 14:00～ 会場準備
7月15日(月) 8:00～ 開場
9:00～ 審判・監督会議
9:30～ 開始式
9:50～ 個人公式練習
10:10～ 個人演技
10:50～ 団体フリー練習
11:10～ 団体公式練習（1チーム×8分）
11:20～ 団体演技
11:40～ 閉会式
- 2 場 所 青森山田高校第二体育館
- 3 参加資格 (1)新体操のチーム（学校クラブ）は、1チームまで出場できる。
(2)新体操個人は、各地区代表3名とする（補欠なし）
- 4 採点規則 (公財)日本体操協会制定新体操男子規則 2023年度版採点規則
- 5 競技方法 <団体競技>
ア 男子はチーム5名（補欠2名以内）でチームを構成する。
イ 演技時間は、2分45秒～3分とする。
ウ 構成と実施の合計点で順位を決定する。
<個人競技>
ア 演技時間は、1分15秒～1分30秒とする。
イ 個人総合は、2種目の合計点により順位を決定する。
ウ 種目別の、各種目の演技の合計点により決定する。
エ 今年度の手具は「リング」、「スティック」とする。
- 6 東北大会 出場権 (1)体操男子団体は上位2チーム。
(2)新体操男子個人は、個人総合上位3名。
(3)辞退した場合は、順次繰り上げて推薦するが、選手選考後はいかなる場合も変更しない。
(4)荒天、災害のため会期中に競技を消化できなかった場合の東北・全国大会出場チーム（選手）の選出方法は、各地区の結果をもとに抽選によって決定する。参加チームや選手数によって、抽選枠は考慮して行う。
- 7 コーチ及びテクニカルアドバイザーについて
(1)外 部 コ ー チ：校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。
(2)テクニカルアドバイザー：中学校の教職員で当該校以外の他の中学校の補助、指導を行う者。
- 8 そ の 他 (1)監督は、監督会議に必ず出席しなければならない。
(2)伴奏音楽は、音楽を記録した記録媒体を参加選手が持参し、使用すること。
(3)撮影する場合は、撮影許可が必要となる。
(4)演技中は、当該チーム監督以外は競技場に立ち入ることはできない。
外部コーチのアリーナへの出入りは、公式練習までとする。
(5)選手は、それぞれの学校（クラブ）を示すマークをつけて出場しなければならない。3cm×3cm以上（校名は略称でも可能）。
(6)マークのつけ位置については、骨盤より上（上腕を含む）の身体の前面で、レオタード柄と区別がつくようにする。

新体操女子

- 1 日 時 7月13日(土) 13:00～ 会場準備
7月14日(日) 9:10～ 開場
10:30～ 審判・監督会議
11:00～ 団体公式練習
11:40～ 団体競技開始
13:15～ 個人公式練習(フープ) 13:45～ 競技
15:00～ 個人公式練習(リボン) 15:30～ 競技
16:50～ 選考会
- 2 場 所 ひらかわドリームアリーナ
- 3 参加資格 (1)新体操のチーム(学校・クラブ)は1チームまで出場できる。
(2)新体操個人は、各地区代表5名とする。(補欠なし)
- 4 採点規則 (公財)日本体操協会制定2022年-2024年度新体操採点規則とする。
一部中体連ルールを適用する。
- 5 競技方法 ①種目
ア 団体:手具は「フープ5」とする。
イ 個人:手具は「フープ」及び「リボン」とする。
②方法
〈団体競技〉
ア チーム5名(補欠3名以内)でチームを構成する。
イ 演技時間は、2分15秒～2分30秒とする。
ウ D得点+A得点+E得点により順位を決定する。
〈個人競技〉
ア 演技時間は、1分15秒～1分30秒とする。
イ 個人総合は、2種目の合計点により順位を決定する。
ウ 種目別は、各種目の演技の合計点により決定する。
- 6 東北大会
出場権 (1)団体は上位2チーム。
(2)新体操個人は、個人総合上位3名。
(3)辞退した場合は、順次繰り上げて推薦するが、選手選考会後はいかなる場合も変更しない。
(4)荒天・災害のため会期中に競技を消化できなかった場合の東北・全国大会出場チーム(選手)の選出方法は、各地区の結果をもとに抽選によって決定する。参加チームや選手数によって、抽選枠は考慮して行う。
- 7 コーチについて (1)外部コーチ:校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。
- 8 その他 (1)監督は、監督会議に必ず出席しなければならない。
(2)伴奏音楽は、音楽を記録した記録媒体を参加選手が持参し、使用すること。また、音楽機器を持参すること。
(3)撮影する場合は、撮影許可が必要になる。
(4)演技中は、当該チーム監督以外は競技場に立ち入ることはできない。外部コーチのアリーナへの出入りは、公式練習までとする。
(5)選手は、それぞれの学校(クラブ)を示すマークをつけて出場しなければならない。マークの中身については学校名(クラブ名)または校章とする。3cm×3cm以上(校名は略称でも可能)。
(6)マークのつけ位置については、腰骨より上(上腕を含む)の身体の前面で、レオタード柄と区別がつくようにする。

15 水 泳 競 技

1 日 時	7月13日(土)	公式練習	9:30~11:30	14:30~16:30
	7月14日(日)	開 門	7:30	監督会議 8:30
		開 会 式	9:40	
		競技開始	10:00	競技終了 16:00 (予定)
7月15日(月)	開 門	7:30	監督会議	8:30
	競技開始	9:30	競技終了	15:25 (予定)
	閉 会 式	15:45 (予定)		

2 場 所 新青森県総合運動公園マエダアリーナ50mプール 50m×10レーン
〒039-3505 青森市宮田高瀬2-2 017-737-0601

3 種 目	男 子	女 子
自 由 形	50・100・200・400・1500	50・100・200・400・800
背 泳 ぎ	100・200	100・200
平 泳 ぎ	100・200	100・200
バ タ フ ラ イ	100・200	100・200
個 人 メ ド レ ー	200・400	200・400
フ リ ー リ レ ー	4×100	4×100
メ ド レ ー リ レ ー	4×100	4×100

- 4 参加資格 (1)青森県中学校体育連盟に加盟する中学校に在籍する生徒で、校長（クラブ代表）が参加を認めた者。
(2)当該校の校長（クラブ代表）が参加を認めた個人及びリレーチーム。種目には制限タイムを設定し、制限タイム以内に泳ぎきることのできる生徒。

種 目	タイム	種 目	タイム
男女50m自由形	50秒00	男女100m背泳ぎ	2分10秒00
男女100m自由形	2分00秒00	男女200m背泳ぎ	4分20秒00
男女200m自由形	4分00秒00	男女100m平泳ぎ	2分20秒00
男女400m自由形	6分00秒00	男女200m平泳ぎ	4分40秒00
女子800m自由形	12分00秒00	男女200m個人メドレー	3分05秒00
男子1500m自由形	24分00秒00	男女400m個人メドレー	6分10秒00
男女100mバタフライ	2分10秒00	男女4×100mフリーリレー メドレーリレー	6分00秒00
男女200mバタフライ	4分20秒00		

- 5 参加制限 (1)1校（1クラブ）、1種目3名以内、1人2種目以内（リレー種目を除く）とする。
(2)フリーリレー・メドレーリレーは1校（1クラブ）1チーム6名までエントリーできる。
- 6 競技規定 2024年（公財）日本水泳連盟競泳競技規則による。
- 7 競技方法 (1)各種目の予選はタイムレースとし10名で行う。上位10名で決勝を行う。
(2)男子1500m自由形、女子800m自由形はタイム決勝とする。
(3)決勝は、予選の結果上位10名（10チーム）が出場できる。ただし、棄権者が出た場合は、時点上位により順次出場権を与える。また、同タイムのため11名（11チーム）以上になった場合は、スイムオフは行わず、抽選により決勝進出者を決定する。

- (4)男女別学校（クラブ）対抗とする。
- ・個人種目毎に1位8点、2位7点～8位1点（ただし、リレー種目は1位16点、2位14点～8位2点）とし最多得点チームを優勝とする。
 - ・総合得点が同点の場合は次の順に従って決定する。
 - ① リレー種目による得点の多い学校（クラブ）。
 - ② 入賞者の多い学校（クラブ）。（リレー種目は4として計算する）
 - ③ 1位の数から8位の数で決定する。

8 申込方法

- (1)申込み用紙は中体連ホームページからダウンロードし、所定の参加申込書に記入後、校長印（クラブ代表者印）を押して地区の中体連に3部提出する。
- (2)Web-SWMSYSによる競技者エントリーの締切は6月20日(木)とする。

9 表彰

- (1)男女別個人種目・リレー種目は上位8位まで賞状を授与する。（リレー種目は3位まで入賞したチームにリレーメンバー全員に授与する。）
- (2)学校（クラブ）対抗（総合）は男女別8位まで賞状を授与する。男女優勝チームには優勝旗を授与する。
- (3)個人及びリレー種目の表彰は、決勝レース後に行う。

10 東北大会・全国大会

- (1)東北大会：
 - ①県大会において4位までに入賞した個人、及びリレーチーム。同着4位の場合は、両者（リレーチーム）とも出場できる。
 - ②県大会において予選、決勝を問わず東北中学校水泳競技大会の標準記録を突破した個人及びリレーチーム。
- (2)全国大会：県大会において予選、決勝を問わず全国中学校水泳競技大会の標準記録を突破した個人及びリレーチームは全国大会の出場資格を得る。
- (3)荒天・災害により、会期中に競技を消化できなかった場合の東北大会・全国大会の対応について
 - 東北大会：県大会の各種目エントリー上位4位までと、東北中学校水泳競技大会の標準記録突破者に出場権を与える。
 - 全国大会：全国中学校水泳競技大会の実行委員会と協議し、選考するが、最終決定は県中体連会長が行う。

11 その他

- (1)競技役員は各地区委員長及び出場校（クラブ）で構成する。
- (2)中体連申し合わせ事項により所属チーム名の入っているジャージや水着、キャップ等の着用を認める。他チーム名の入ったものは使用できない。

競 技 順 序

〈第1日目：7月14日(日)〉 競技開始 10:00

1. 女子	4×100m	フリーリレー	予選	16. 男子	400m	個人メドレー	決勝
2. 男子	4×100m	フリーリレー	予選	17. 女子	800m	自由形	決勝
3. 女子	50m	自由形	予選	18. 男子	1500m	自由形	決勝
4. 男子	50m	自由形	予選	19. 女子	50m	自由形	決勝
5. 女子	400m	個人メドレー	予選	20. 男子	50m	自由形	決勝
6. 男子	400m	個人メドレー	予選	21. 女子	200m	自由形	決勝
7. 女子	200m	自由形	予選	22. 男子	200m	自由形	決勝
8. 男子	200m	自由形	予選	23. 女子	200m	バタフライ	決勝
9. 女子	200m	バタフライ	予選	24. 男子	200m	バタフライ	決勝
10. 男子	200m	バタフライ	予選	25. 女子	200m	背泳ぎ	決勝
11. 女子	200m	背泳ぎ	予選	26. 男子	200m	背泳ぎ	決勝
12. 男子	200m	背泳ぎ	予選	27. 女子	200m	平泳ぎ	決勝
13. 女子	200m	平泳ぎ	予選	28. 男子	200m	平泳ぎ	決勝
14. 男子	200m	平泳ぎ	予選	29. 女子	4×100m	フリーリレー	決勝
15. 女子	400m	個人メドレー	決勝	30. 男子	4×100m	フリーリレー	決勝

〈第2日目：7月15日(月)〉 競技開始 9:30

31. 女子	4×100m	メドレーリレー	予選	45. 女子	100m	バタフライ	決勝
32. 男子	4×100m	メドレーリレー	予選	46. 男子	100m	バタフライ	決勝
33. 女子	100m	バタフライ	予選	47. 女子	100m	自由形	決勝
34. 男子	100m	バタフライ	予選	48. 男子	100m	自由形	決勝
35. 女子	100m	自由形	予選	49. 女子	100m	背泳ぎ	決勝
36. 男子	100m	自由形	予選	50. 男子	100m	背泳ぎ	決勝
37. 女子	100m	背泳ぎ	予選	51. 女子	100m	平泳ぎ	決勝
38. 男子	100m	背泳ぎ	予選	52. 男子	100m	平泳ぎ	決勝
39. 女子	100m	平泳ぎ	予選	53. 女子	200m	個人メドレー	決勝
40. 男子	100m	平泳ぎ	予選	54. 男子	200m	個人メドレー	決勝
41. 女子	200m	個人メドレー	予選	55. 女子	400m	自由形	決勝
42. 男子	200m	個人メドレー	予選	56. 男子	400m	自由形	決勝
43. 女子	400m	自由形	予選	57. 女子	4×100m	メドレーリレー	決勝
44. 男子	400m	自由形	予選	58. 男子	4×100m	メドレーリレー	決勝

※種目のエントリー数により、競技順序が繰り上がる場合もある。

2024年度〔令和6年度〕標準記録一覧

青森県中体連水泳専門部

種目・距離	男女		男子		女子	
	制限タイム (県大会参加基準タイム)	東北大会	東北大会	全国大会	東北大会	全国大会
自由形	50m	50.00	26.24	24.90	28.92	27.28
	100m	2:00.00	58.49	54.21	1:02.86	59.37
	200m	4:00.00	2:07.82	1:58.75	2:17.29	2:08.41
	400m	6:00.00	4:33.33	4:12.18	4:48.68	4:29.57
1500m/800m	24:00.00/12:00.00	18:15.80	16:50.86	16:50.86	9:58.69	9:23.50
背泳	100m	2:10.00	1:07.02	1:00.91	1:11.11	1:05.80
	200m	4:20.00	2:26.15	2:12.76	2:32.97	2:21.94
平泳ぎ	100m	2:20.00	1:12.19	1:06.77	1:19.23	1:13.85
	200m	4:40.00	2:35.89	2:23.82	2:49.93	2:37.46
バタフライ	100m	2:10.00	1:03.24	58.17	1:08.85	1:03.67
	200m	4:20.00	2:23.69	2:08.97	2:35.02	2:20.65
個人メドレー	200m	3:05.00	2:24.66	2:12.72	2:35.12	2:24.11
	400m	6:10.00	5:10.42	4:43.87	5:30.17	5:05.09
4×100mフリーレー	6:00.00	4:04.04	3:47.65	3:47.65	4:25.34	4:09.99
4×100mメドレーレー	6:00.00	4:31.80	4:13.15	4:13.15	4:58.02	4:33.03

1. 県大会への出場資格

- (1) 青森県中学校体育連盟に加盟する中学校に在籍する生徒で、校長（クラブ代表）が参加を認めた者。
- (2) 当該校の校長・クラブ代表が参加を認め、地区大会にエントリーした個人及びリレーチームとする。種目には制限タイムを設定し、制限タイム以内に泳ぎ切ることのできる生徒。

2. 東北大会への出場資格

- (1) 県大会において4位までに入賞した個人、及びリレーチーム。同着4位の場合は、両者（リレーチーム）とも出場できる。
- (2) 県大会において予選、決勝を問わず東北中学校水泳競技大会の標準記録を突破した個人及びリレーチーム。

3. 全国大会への出場資格

県大会において予選、決勝を問わず全国中学校水泳競技大会の標準記録を突破した個人及びリレーチームは全国大会の出場資格を得る。
 ※各地区大会で標準記録を突破しても、出場資格は得られない。県大会が予選となる。

☆フリーレー・メドレーレーにおける第一泳者の正式時間は、その対象としない。

☆予選、決勝どちらでも標準記録を突破しても出場の対象となる。